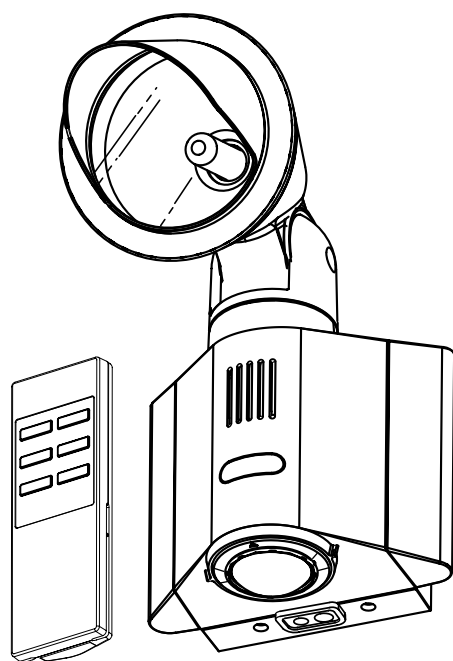


音と光の見張り番 センサライト

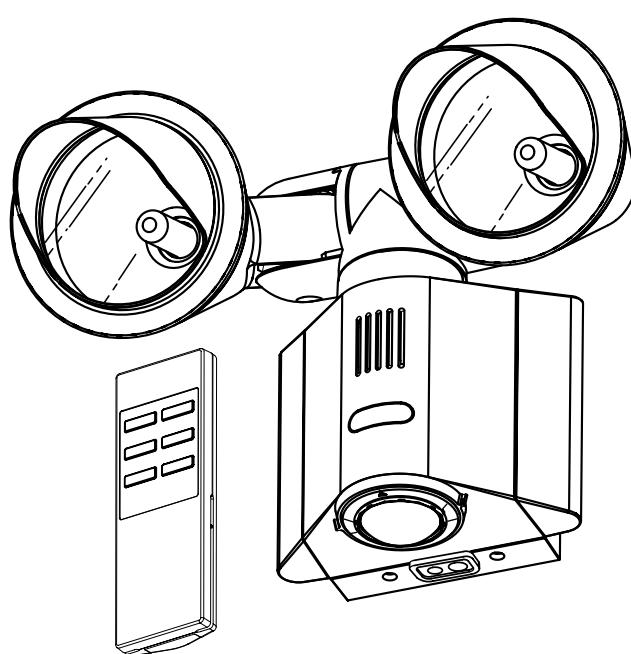
1灯式入出力端子付・リモコン対応形

SL111A



2灯式入出力端子付・リモコン対応形

SL112A



※ ハロゲン電球およびライトフードは、ご購入時には取り付けておりません。6ページの「電球の取り付け（交換）方法」および11ページの「ライトフードの取り付け方法」を参照して取り付けてください。

製品の特長

- 付属のライトフードを取り付けると、正面の家屋や歩行者の迷惑にならないように上方向の眩しさを低減します。
- ワイヤレスリモコン（特定小電力形）により、離れた場所からモード切換えや音量調整などの各種設定が行なえます。
- 人体検知エリアは下向き360度で、真下や後方も検知します。
- 2つのモード（自動点灯／強制点灯）が選択できます。
- 現在の設定状態が一目でわかり、威嚇効果を発揮する3色の状態表示LED付き。
- ライトはフラッシング機能付き。威嚇効果を発揮します。
- 明るさセンサ調整で夜間のみ点灯させたり、点灯時間調整でライトの点灯時間を調整（約5秒～約5分）できます。
- 本体内蔵スピーカによる報知音機能付き。（チャイム／アラーム切換スイッチ、ON／OFF切換スイッチ、音量調整ボリューム）
- 他の機器からこの製品のライトを点灯制御できる外部センサ入力端子付き。
- この製品から他の機器を制御できる無電圧リレー接点出力付き。
- 優れた防雨性能。（JIS保護等級IPX5準拠）（注1）
- トランス式電源回路による安全設計。
- 交換用ランプは入手しやすいE11形口金式ハロゲン球を使用。
- 電源コードは脱着可能。お好みの長さのコードに交換が容易です。（注2）
- JISスイッチボックス取付が可能。（注2）

（注1） IPX5とはJIS規格によるIPコード（保護等級）で、あらゆる方向からのノズルによる噴流水によっても有害な影響を及ぼさない性能を意味します。

（注2） 電源工事には資格が必要です。ご購入店に相談してください。

もくじ

安全上のご注意

1 各部の名称

2 取り付け方法

3 取り付け上の注意

4 配線方法

5 使用方法

6 システムアップ

7 ご注意

8 故障かなと思ったら

9 仕様

.....	3
1. 本体表面	5
2. 本体裏面	5
3. リモコン (SLR100D)	5
4. 付属品	5
1. 電球の取り付け (交換) 方法	6
2. 本体の取り付け方法	6
(1) 壁面に取り付ける場合	6
(2) ポール・柵に取り付ける場合	7
① 縦向きポールに取り付ける場合	7
② 横向きポールに取り付ける場合	7
③ 縦向きの柵または太いポール・柱に取り付ける場合	7
④ 横向きの柵または太いポール・柱に取り付ける場合	7
(3) JIS1個用スイッチボックス (カバー付) の場合	7
3. センサ検知範囲 (人体検知エリア)	8
4. センサ部の角度調整	9
5. エリアマスキングカバー	10
6. ライト部角度調整	10
7. ライトフードの効果と取り付け方法	11
.....	12
.....	13
1. ウォーミングアップ	15
2. 動作テスト	15
3. 調整方法	15
(1) TIME: タイマボリューム	15
(2) LUX: 明るさセンサ調整ボリューム	15
4. リモコン (SLR100D) の使い方	16
(1) 各部名称	16
(2) 電池の正しい入れ方	16
(3) リモコンホルダーの取り付け方法	16
(4) リモコンセレクトスイッチ	16
5. 状態表示LEDについて	17
6. モード	17
7. フラッシングの調整	17
8. 報知音機能	18
(1) 報知音の選択	18
(2) 報知音の停止方法と報知音機能の解除方法	18
(3) 報知音の音量調整	18
9. 設定について	19
(1) 初期設定	19
(2) メモリー機能	19
10. リセットボタンについて	19
1. 外部センサ入力機能	20
2. 無電圧リレー接点出力機能	21
.....	22
.....	23
.....	24

安全上のご注意

- ご使用の前に、この〈安全上のご注意〉をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
- お読みになった後は、いつでも見られるところに保存してください。

表示について：取扱説明書、および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。
その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。



警告

この内容が無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



注意

この内容が無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例



△記号は注意（危険・警告を含む）を促す内容があることを告げるものです。
図の中に具体的な注意内容（左図の場合は警告または注意）が描かれています。



○記号は禁止の行為であることを告げるものです。
図の中や近くに具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。



●記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。図の中に具体的な指示内容（左図の場合は電源プラグをコンセントから抜いてください）が描かれています。



警告

- 指定された電源（AC100V 50/60Hz）以外は使用しないでください。
火災・感電の原因となります。



- ライトが点灯中、また消灯後もしばらくの間ライト部およびライトフードは熱くなっていますので絶対に素手で触れないでください。やけどの原因となります。



- 電源工事が必要な場合は、電気工事が行える販売店か電気工事店に依頼してください。電気工事士の資格がない場合、電気工事をする場合は、法律で禁止されています。



- 屋外コンセントは、防雨形を使用してください。屋外で屋内用のコンセントを使用すると、漏電や感電の原因となります。



- 電球の交換は、電源プラグをコンセントから抜き（電源コードを直接壁面から接続している場合はブレーカを切って）、ライト部および電球の温度が十分下がった後行なってください。感電・やけどの原因となります。



- 分解、改造、修理はしないでください。感電・火災・故障の原因となります。
故障した場合はご購入店に修理を依頼してください。



- 下記のような場所に設置しないでください。

- ・わらびき屋根の軒下など可燃物が近くにある場所。
- ・ベランダ等、洗濯物や布団などがこの製品に触れるおそれのある場所。
- ・風により可燃物が飛んできてこの製品をおおうおそれのある場所。

また、ライト部に可燃物製のフードや囲いなどをつけないでください。火災の原因となります。



⚠ 警告

- 万一、この製品から煙が出ている、変な臭いがするなどの異常状態に陥った場合、そのまま使用すると火災や感電の原因となります。すぐにこの製品の電源プラグをコンセントから抜いて（電源コードを直接壁面から接続している場合はブレーカを切って）、煙が出なくなるのを確認してからご購入店に相談してください。



- お手入れは、電源プラグをコンセントから抜き（電源コードを直接壁面から接続している場合はブレーカを切って）、消灯後本器の温度が十分下がった後行なってください。感電・やけどの原因となります。



- この製品を設置した後、しっかり固定されているか、また、ときどきぐらつきがないか確かめてください。固定が不十分な場合、落下して、けが、感電、故障の原因となります。



- 使用時は必ずガラスカバーを正しく取り付けてください。埃、雨水等が内部に入り、漏電、感電、火災、故障の原因となります。



- 電源コードはライト部に接触しないように確実に壁面等に固定してください。
点灯中はライト部が高温になり、電源コードが接触すると事故や火災の原因となります。



- 電源コードの上にものを載せたり、コードをステップルなどで固定する場合は、被ふくが変形しないように固定してください。ショートや断線により、漏電、感電、火災、故障の原因となります。



- ぬれた手で、電源プラグをコンセントに抜き差ししないでください。
感電、漏電、故障の原因となります。



- 雷が発生しているときは、設置工事をしたり、この製品に触れないでください。感電、けがの原因となります。



- 点灯しているライトを直接見ないでください。視力障害の原因となります。



- この製品に空気の流れを妨げるすっぽり覆うような囲いをつけないでください。高温になり火災、故障の原因となります。



- 設定等ではずしたガラスカバーやゴムキャップ等は、設定終了後必ず元通り取り付けてください。はずした状態で使用すると内部にほこりや雨水等が入り、火災、漏電、感電、故障の原因となります。



- 付属リモコンの品名シール（マーク、認定番号、認証番号を表示）は、絶対にはがさないでください。
シールがないものは、法律で使用を禁止されています。



- 付属リモコンのシールの表示を故意に消したり、改ざんすることは法律で禁止されています。



⚠ 注意

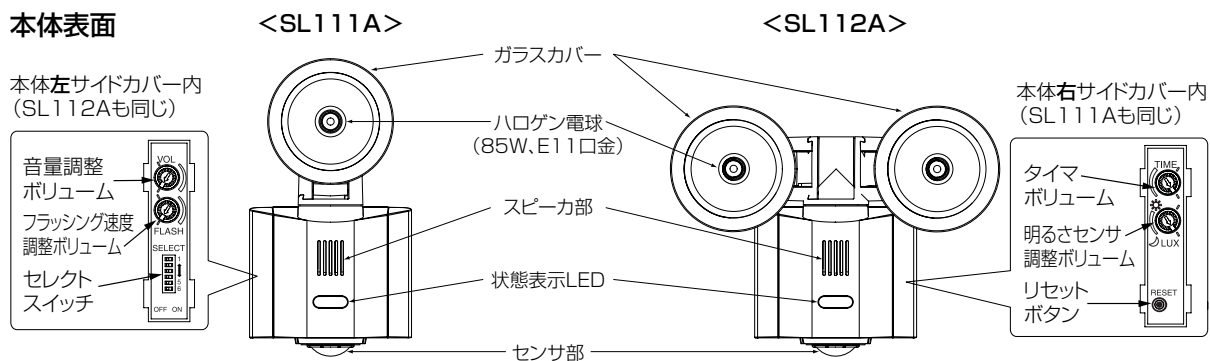
- お手入れは、柔らかい布で乾拭きか、薄めた中性洗剤に浸してかたく絞った布で行なってください。ベンジン、アルコール、シンナーなどの薬品は使わないでください。変色、変形、変質の原因となります。



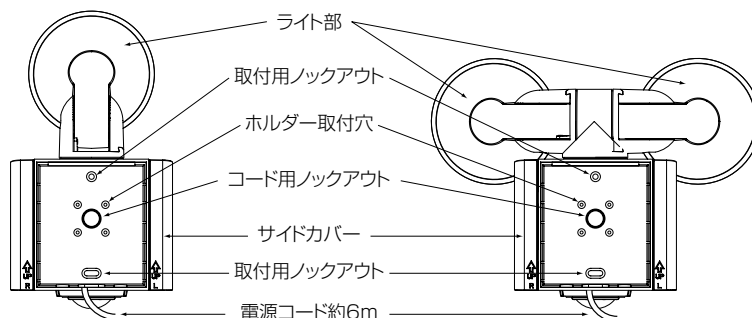
- 電波を発生する機器（付属リモコンを除く）の近くに設置しないでください。電波によりセンサが誤動作するおそれがあります。



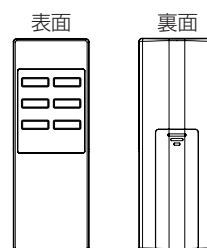
1. 本体表面



2. 本体裏面



3. リモコン (SLR100D)



⚠ 注意

AC100Vコンセントが近くない場合や、電源コードを加工したり、脱着、お好みの長さのコードに交換する場合は販売店、または電気工事に工事を依頼してください。

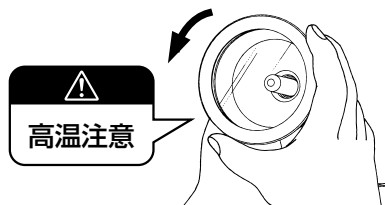
4. 付属品



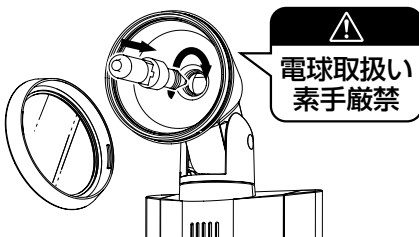
1. 電球の取り付け（交換）方法

※電球寿命の目安…1回約5分間の点灯を1日5回行なった場合、約2年です。

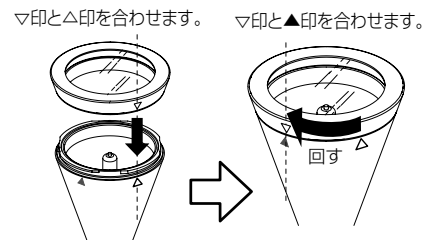
- ①必ず本体の電源プラグをコンセントから抜く、もしくはブレーカ等で電源を切った後、片手でライト部をしっかりと持って、もう一方の手でガラスカバーを左（反時計）回りに回してはさずしてください。



- ②電球を交換する場合は、古い電球を左（反時計）回りに回してはさずし、新しい電球を押し込みながら右（時計）回りに回してしっかりと取り付けてください。



- ③ガラスカバーを右（時計）回りに回して取り付けてください。



※交換球は必ず、市販のハロゲン電球85W（E11口金）を使用してください。（型式:JD110V85WまたはJD100V85W）定格が85Wを超える電球は使用しないでください。火災、事故、故障の原因となります。

※誤まって85Wを超えた電球を使用すると、安全のため動作しなくなる場合があります。復帰には機器内部の部品交換（修理）が必要となります。

⚠ 注意

- ・ガラスカバーの▽印と本体の▲印が合っているか、十分確認してください。斜めになっていたり、しっかりと締め付けられていないと雨水等が入り故障の原因となります。
- ・交換するときは必ず、電源を切って、十分に温度が下がってから行なってください。
- ・電球は素手でさわらないでください。指紋が着くと電球寿命が短くなります。（すぐに球切れをおこす場合があります）指紋が着いた場合、乾いた布でよく拭き取ってください。
- ・電球は衝撃により球切れを起こしやすいため、交換時や、ライト部に取り付けて移動する場合は注意して取り扱いってください。（特に点灯中や点灯直後の熱くなっている間は衝撃を与えないよう注意してください。）
- ・この製品を使用する初期段階で、ガラス面の内側やライト反射板の表面に白い粉が付着する場合があります。万一白い粉が付着した場合は、素手で触れず、必ず布等で拭き取ってください。

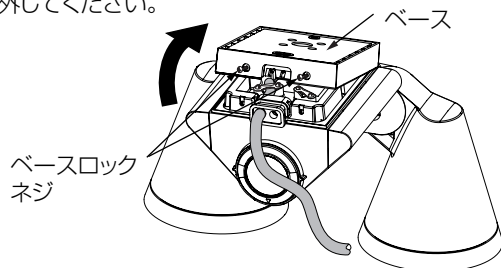
2. 本体の取り付け方法

⚠ 警告

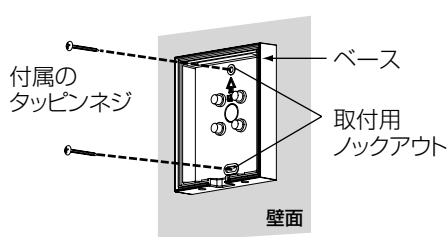
この製品に電源が入った状態でライト部の30cm以内には（壁面以外）物を近づけないでください。また、天井への取り付けはしないでください。火災の原因となります。

(1) 壁面に取り付ける場合（コンクリート壁やコンクリートブロック、木製の壁等への取り付け）

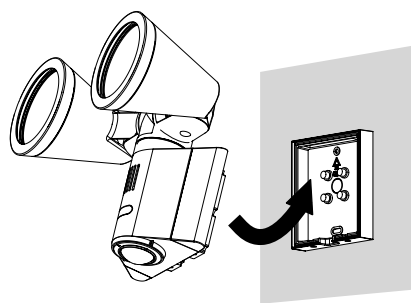
- ①本体下部のベースロックネジをプラスドライバーでゆるめてベースを取り外してください。



- ②ベースの取付用ノックアウト（上下2か所）を破り、壁にφ3.0mmの下穴をあけて付属のタッピンネジで壁に固定してください。



- ③壁に固定したベースに本体を取り付けてください。



- ④本体がベースにしっかりとハマったことを確認して、本体下部のベースロックネジをプラスドライバーでしっかりと締めてください。

●コンクリートに直接取り付ける場合

- (1) ベースの取付用ノックアウト穴位置に合うように、コンクリートにφ6.0mmの穴をあけてください。
- (2) 付属のアンカプラグを穴に差し込み、かなづち等で壁の面に合うよう軽く打ち込んでください。
- (3) ベースを取り付け、付属の4×32mmのネジで壁に固定してください。

コンクリートドリル
φ6.0mmアンカ
プラグ4×32
mm

ベース

●木製の壁に取り付ける場合

ベースを付属の4×30mmのネジで壁に固定してください。

※取付ピッチ:83.5mm（JISスイッチボックス適合ピッチ）

※埋込配線をする場合は7ページおよび13ページの「配線方法」を参照して配線を行ってください。

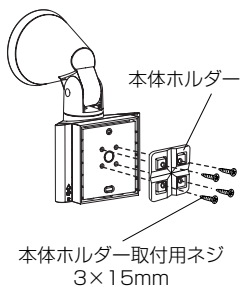
(2) ポール・柵に取り付ける場合（カーポートやベランダ、柵等への取り付け）

⚠ 注意

- ・必ずセンサ部分が下になるよう取り付けてください。
- ・ブラケットは下から、または横向きに本体ホルダーに差し込んでください。誤った取り付け方をすると落下等による火災・感電・けがの原因となります。
- ・万一、突風や衝撃等により本体が落下した場合危険ですので、本体を取り付け後、本体のすぐ下あたりの電源コードを市販品の自在バンドやステップル等でしっかり固定してください。

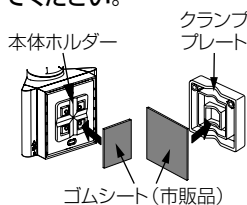
〈はじめに〉

付属の本体ホルダーを本体ホルダー取付用ネジでベースに取り付けてください。



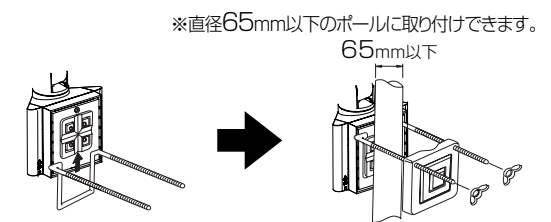
⚠ 注意

取り付け後、本体がずれたり、落下しないか確認してください。滑りやすいポールや柵等に取り付けた場合、突風や衝撃で本体が落下するおそれがあります。その場合、下図のように本体ホルダーとクランププレートに市販品のゴムまたはシリコン系シート等を挟んで本体が滑らないように取り付けてください。



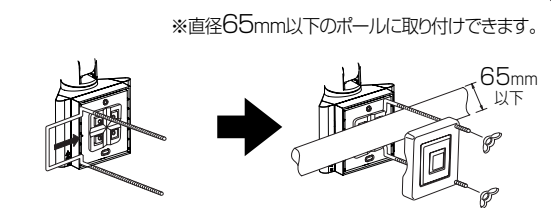
①縦向きポールに取り付ける場合

- (1) ブラケットのU字部分を下から本体ホルダーに差し込んでください。
- (2) ポールをブラケットで挟み込むようにして付属のクランププレートを取り付け、クランププレート固定ナットでしっかりと締めてください。



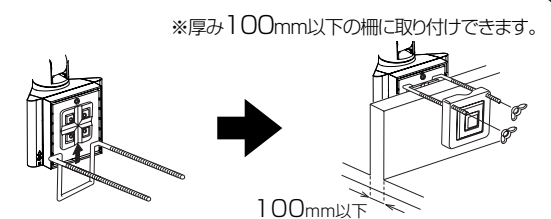
②横向きポールに取り付ける場合

- (1) ブラケットのU字部分を横から本体ホルダーに差し込んでください。
※左右どちらからでも差し込むことができます。
- (2) ポールをブラケットで挟み込むようにして付属のクランププレートを取り付け、クランププレート固定ナットでしっかりと締めてください。



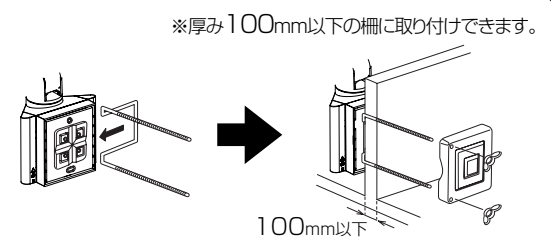
③縦向き柵または太いポール・柱に取り付ける場合

- (1) ブラケットのU字部分を下から本体ホルダーに差し込んでください。
- (2) 柵をホルダーとクランププレートで挟み込むようにしてクランププレートを取り付け、クランププレート固定ナットでしっかりと締めてください。

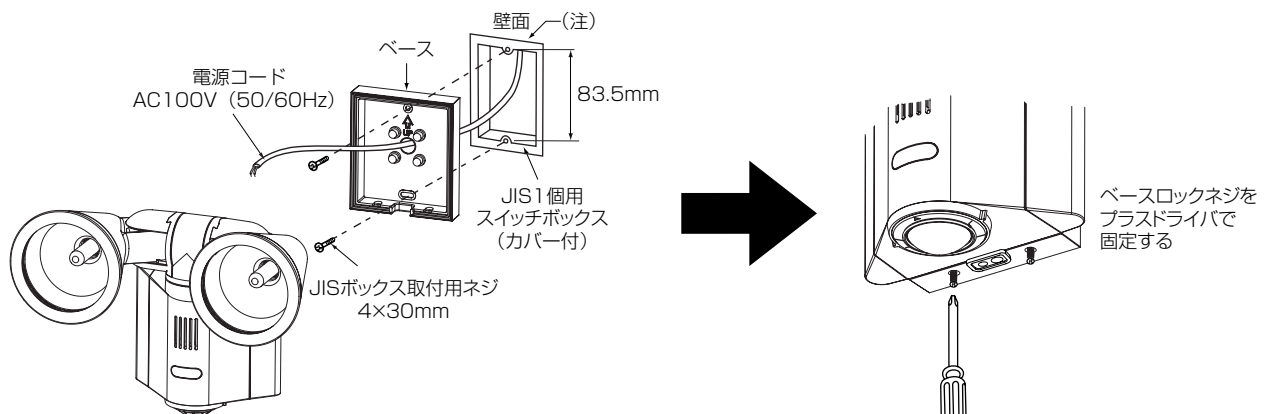


④横向き柵または太いポール・柱に取り付ける場合

- (1) ブラケットのU字部分を横から本体ホルダーに差し込んでください。
※左右どちらからでも差し込むことができます。
- (2) 柵をホルダーとクランププレートで挟み込むようにしてクランププレートを取り付け、クランププレート固定ナットでしっかりと締めてください。（左記の注意参照）



(3) JIS1個用スイッチボックス（カバー付）の場合（電気工事士の資格が必要です）



※電源コードの配線方法は13ページの「配線方法」を参照してください。

※別途、電源スイッチを設けることをおすすめします。電球交換時や長期間使用しない場合に便利です。

（注）壁面とベース間のすき間には雨水等が入らないようにシリコン系のボンド等でシーリング処理をしてください。

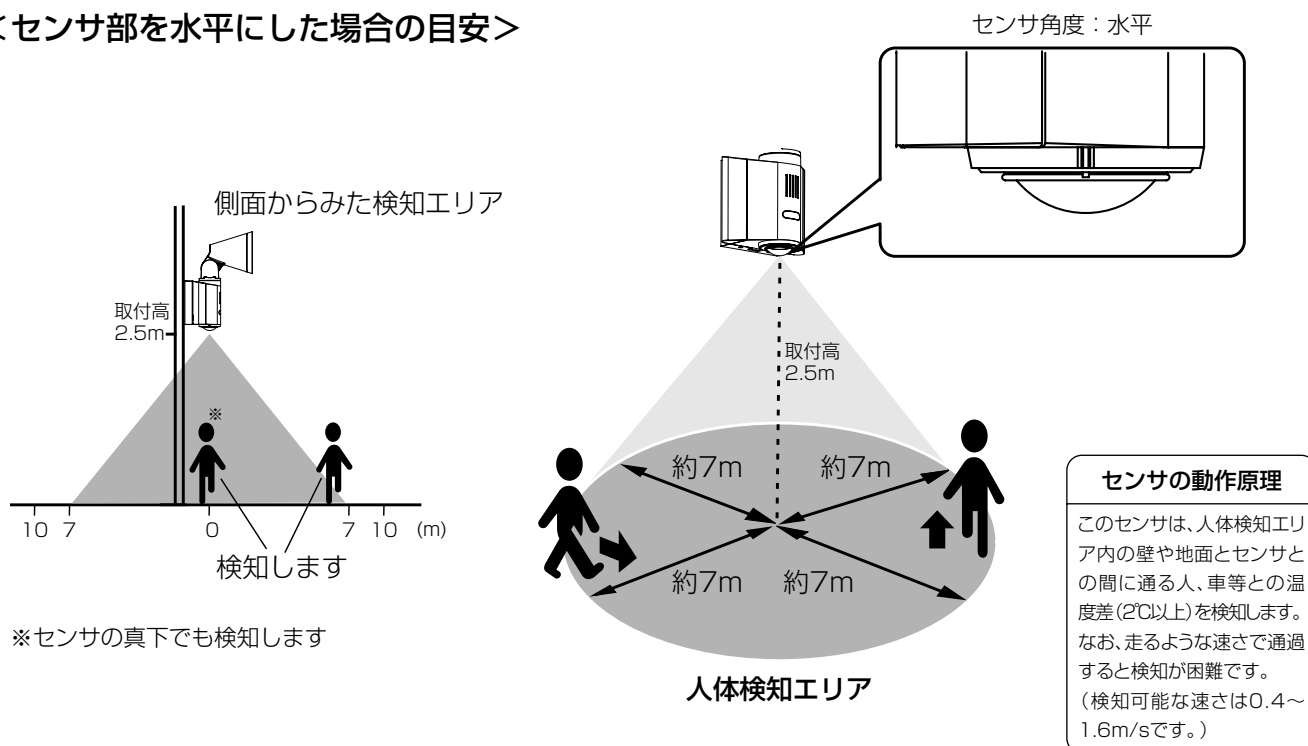
3. センサ検知範囲（人体検知エリア）

●センサは、最長約10m、最大360°の範囲（下図参照）で動く人や車等を検知します。

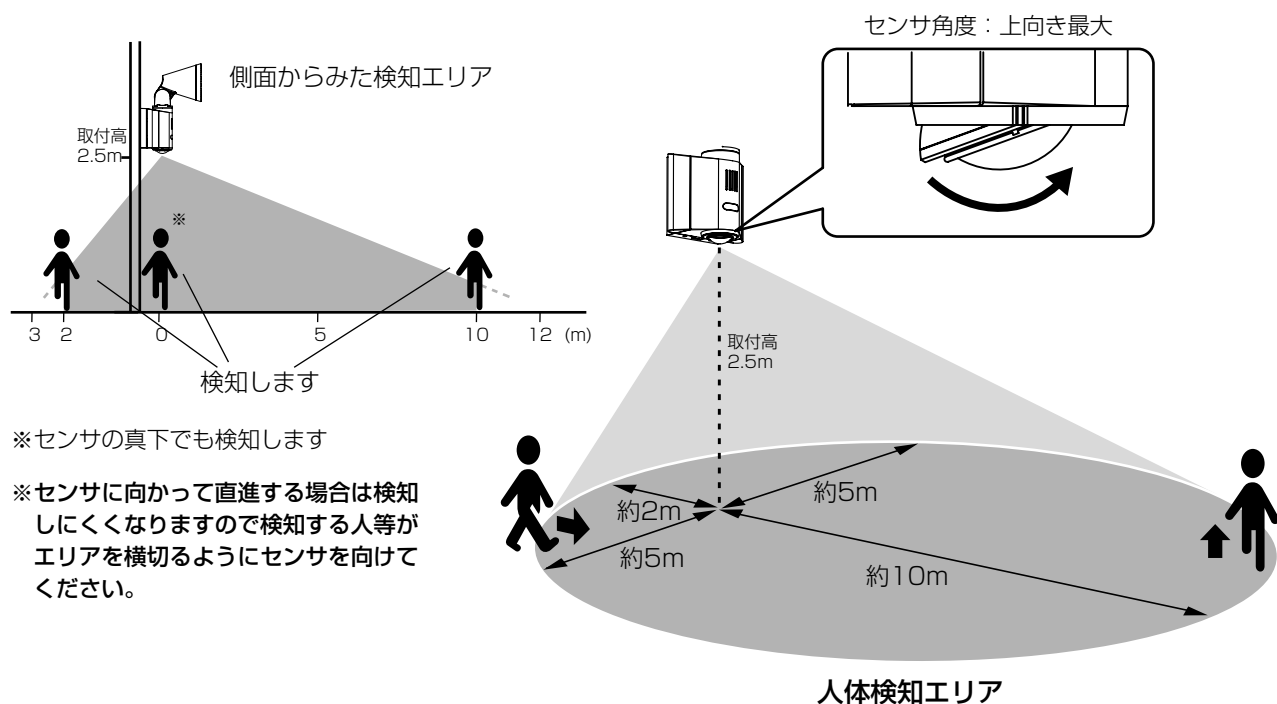
※なお、この章で説明している「人体検知エリア」のことを文章中では単に「検知エリア」と表現しています。

※下図の検知エリアは取付高2.5mの場合の目安です。なお、取付高が2.5mより低い場合は検知エリアはせまくなります。逆に、高い場合は検知エリアは広くなりますが、検知しにくくなります。9ページの「4. センサ部の角度調整」を参照の上、実際の取付場所で検知動作を確認してから取り付けてください。

< センサ部を水平にした場合の目安 >



< センサ部を上向き最大に傾けた場合の目安 >

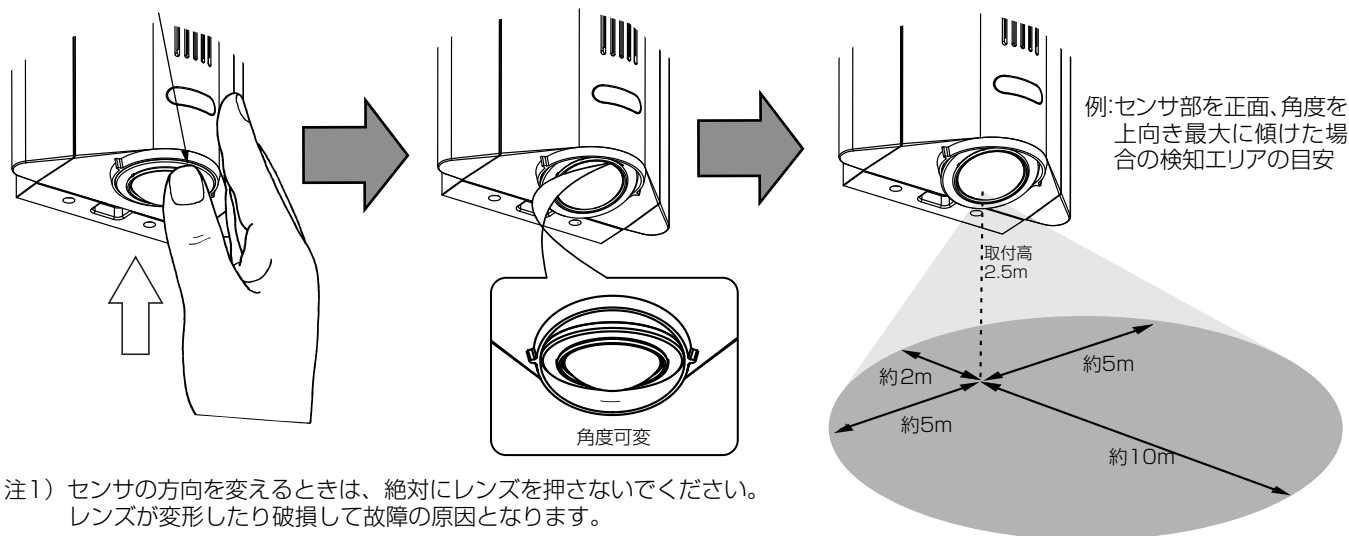


※検知エリアは周囲の環境、気温、天候により変化します。(雨のかかったレインコートや冬場重ね着をした場合等、検知エリア内の地面、壁等と検知エリアを通る人等との温度差がほとんどない場合は検知しにくくなったり、検知しないこともあります。)

4. センサ部の角度調整

● センサ部を上向きに傾けた場合の検知エリア

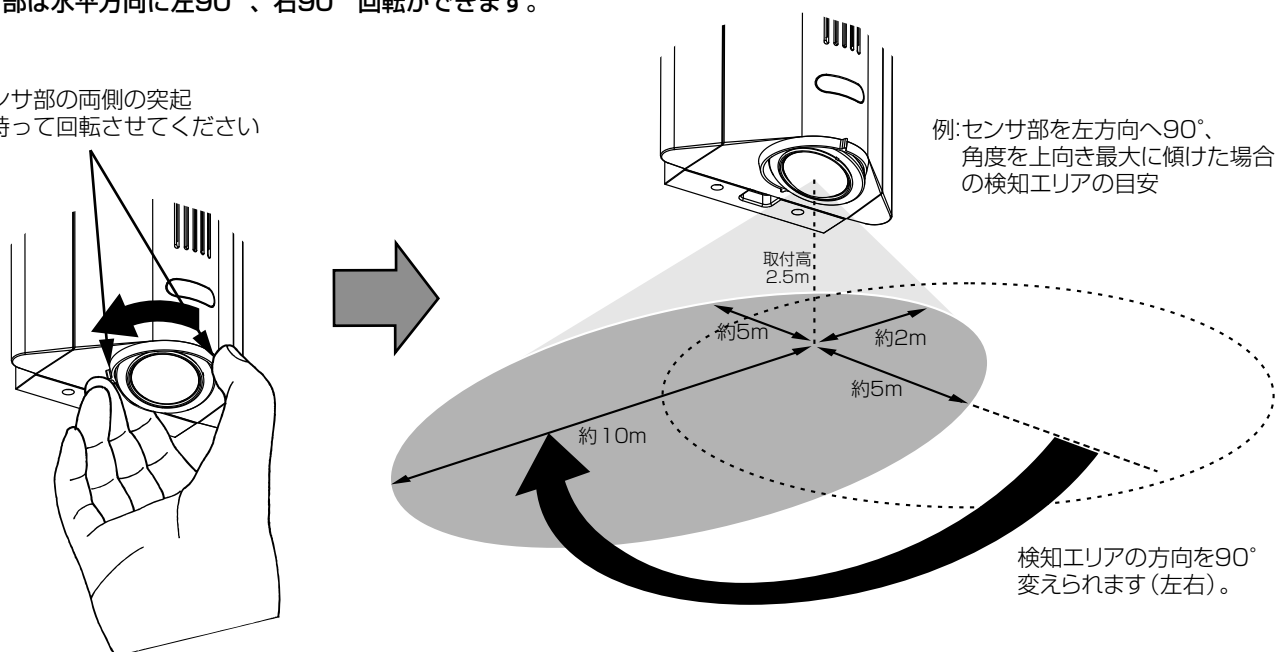
手でセンサ部の△マーク部
を押し上げてください。(注1)



● センサ部を水平方向に回転させた場合の検知エリア

センサ部は水平方向に左90°、右90°回転ができます。

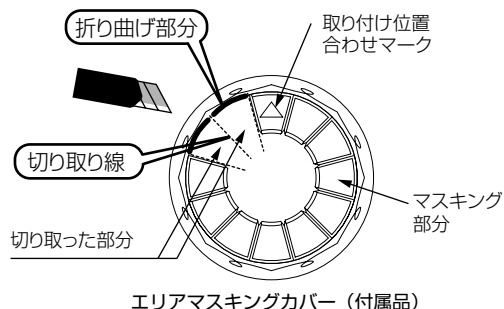
センサ部の両側の突起
を持って回転させてください



5. エリアマスキングカバー

人体検知エリアを制限する為のマスキングカバー（下図）を取り付けるとお好みの検知エリアを設定できます。
小動物の通り道や歩道に面した場所での設置など検知させたくないエリアがある場合に使用してください。
なお、エリアマスキングカバーは、センサ部と一緒に回転します。

下図のように検知させたくない場所を**残して**切り取ってください。（注1）

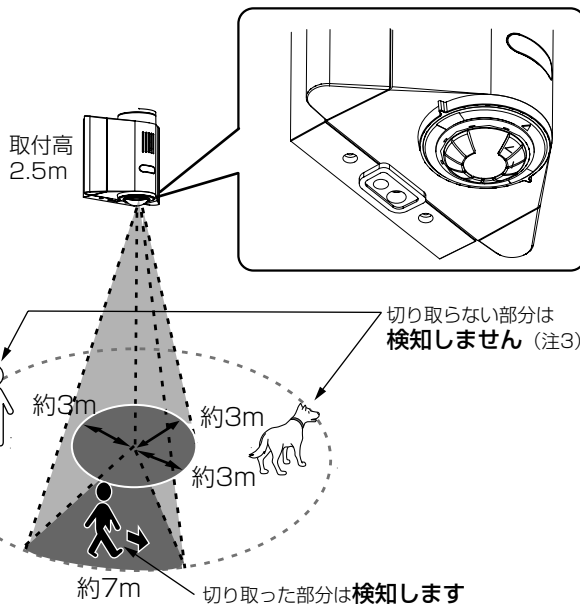


⚠ 注意

カッター等を使用する場合は、けがをしないよう十分注意してください。

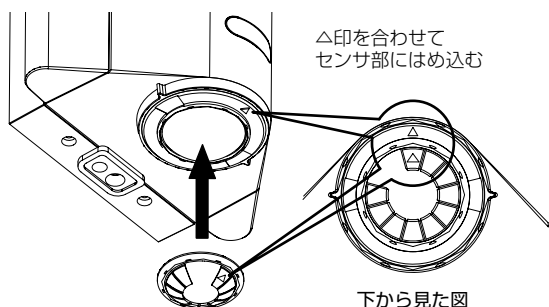
●エリアマスキングカバーを使用した場合の検知エリア

例：センサ角度：水平(0°)

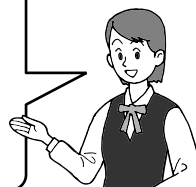


カッター等で縦方向に2か所（上図点線部分）切り込みを入れると簡単に折ることができます。（注1、注2）
なお、上図のように2か所以上切り取る場合は、各々の両側に切り込みを入れて1つずつ丁寧に折ってください。

●エリアマスキングカバーの取り付け



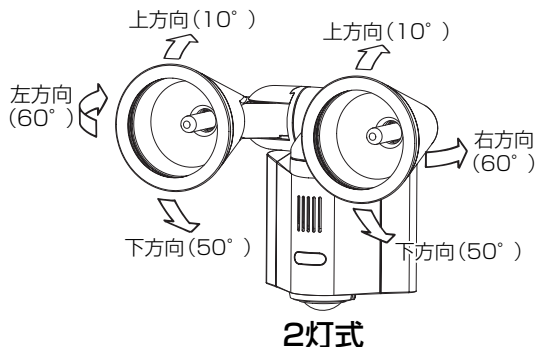
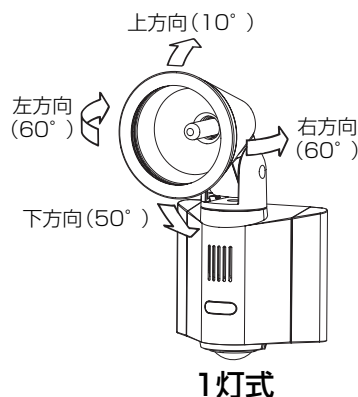
- （注1）センサ部に取り付けた状態でエリアマスキングカバーをカッターで切り取ると、センサレンズにキズがついたり、破損して人体検知性能が維持できなくなります。そのため**必ずセンサ部からはずした状態で切り取ってください。**
（注2）エリアマスキングカバーの△印が入った部分を切り取る場合は、本体との位置合わせが行いにくくなります。そのため、あらかじめ両方の△印の位置を確かめてから切り取ってください。
（注3）季節、気温、天候により、切り取らない部分でもセンサ部から数十センチ以内は人体を検知する場合があります。そのため、実際の使用場所で確認しながら作業してください。



6. ライト部角度調整

ライト部の角度を調整して、ライトの向きを調整します。

（注）2灯式の場合、ランプは内側（→ ←）に回転移動しません。



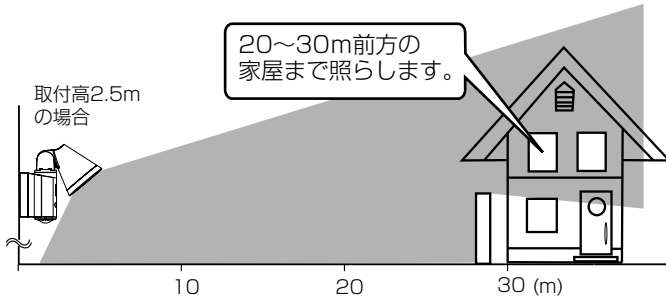
⚠ 注意

- 上記の角度以上に無理に回転させないでください。故障の原因となります。
- ライトが点灯中、また消灯後もしばらくの間、ライト部およびライトフードは熱くなっていますので絶対に素手で触れないでください。やけどの原因となります。

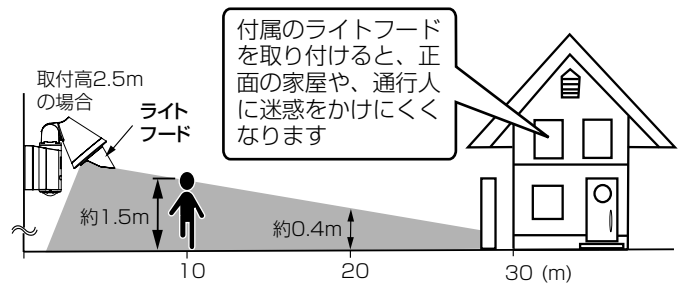
7. ライトフードの効果と取り付け方法

付属のライトフードを取り付けると、下図のようにライトを照らす範囲を遮光することができます。

●ライトフードなしの場合（ライト下向き50°）



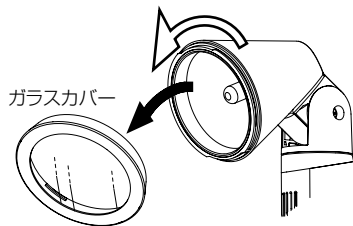
●ライトフードありの場合（ライト下向き50°）



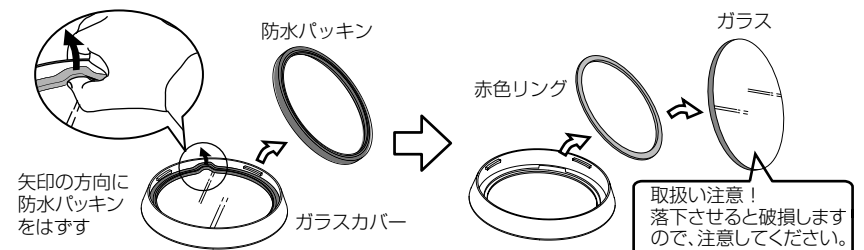
＜注意＞ライトフードは、ライトの上部のみに取り付け可能です。（ライトの横や下部には取り付けできません）

●ライトフードの取り付け方法 ※図では1灯式で説明していますが、2灯式も同様に行なってください。

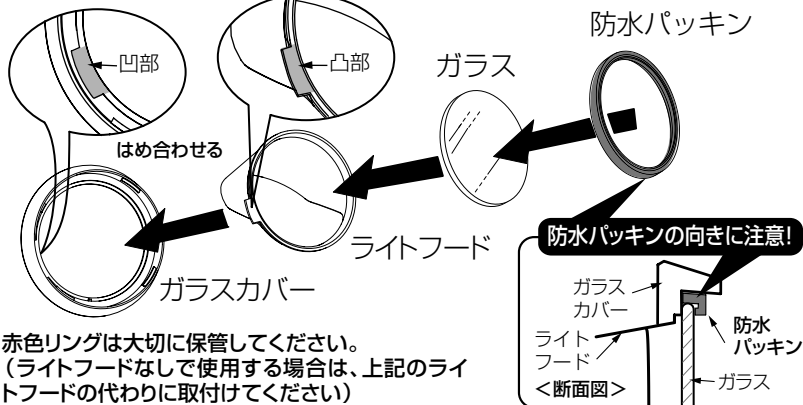
①ライト部の温度が十分下がっていることを確認し、ガラスカバーを取りはずします。



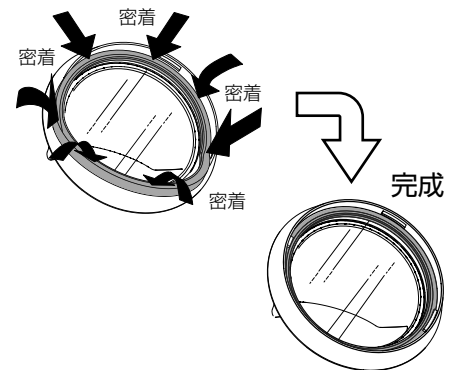
②下図のように防水パッキンを取りはずします。次にガラスと赤色リングを取りはずします。



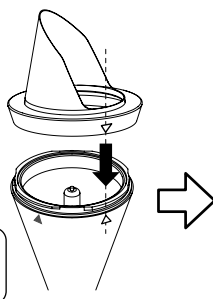
③赤色リングの代わりにライトフードをガラスカバーとガラスの間に取り付けます。（ライトフードは1灯式、2灯式でそれぞれ専用部品となっています。）



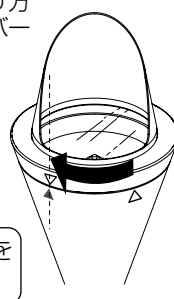
④防水パッキンを↓の方向に均一に押し込んで、ガラスにむらなく密着させてください。



⑤右図のようにガラスカバーを取付けます。



次に時計回り方向にガラスカバーを回します。



▽印と△印を合わせます。

▽印と▲印を合わせます。

※必ずガラスカバーを持って回してください。ライトフードを持って回すとライトフードが変形したり、位置がずれて防水性能が低下する場合があります。

⚠ 注意

- ・必ず▽印が▲印に合う所まで回してください。（ずれていると防水性能が低下します）
- ・回すときライトフードの端で手を切らないように注意してください。

⚠ 警告

火災や内部への浸水などによる重大事故、および故障の原因となりますので次のことは絶対にやめてください。

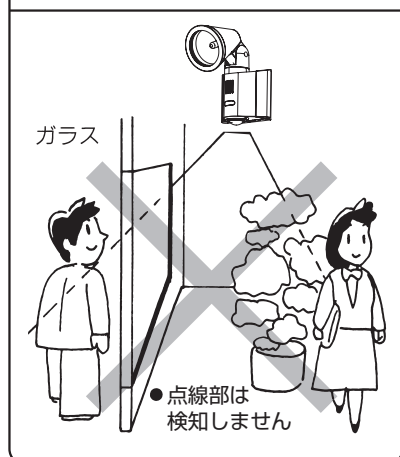
- ・ライトフードや本体の改造。
- ・本体の取り付けを横向きにしたり、天井付けや逆さまに取り付けるなど。
- ・付属のライトフード以外のものでもライト部を覆う。
- ・ガラスカバーを緩めた状態でライト部に取り付ける。

センサは向けている壁、地面とその間を通る人、車との温度差を検知します。このため、検知エリア内に動くものがあつたり、急激な温度変化をひき起こす要因があると感度が極端に鈍くなつたり、誤動作する原因となります。

検知しない

設置場所を変更してください。

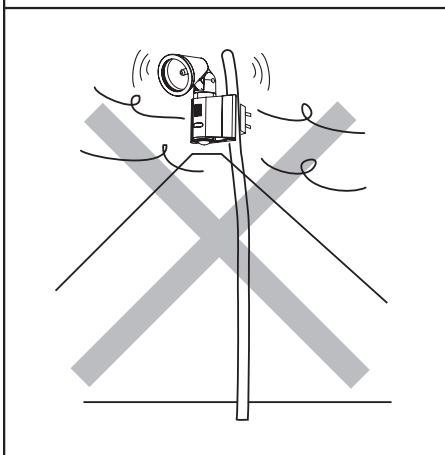
- 検知エリア内に障害物がある
(植木、ガラスなど)



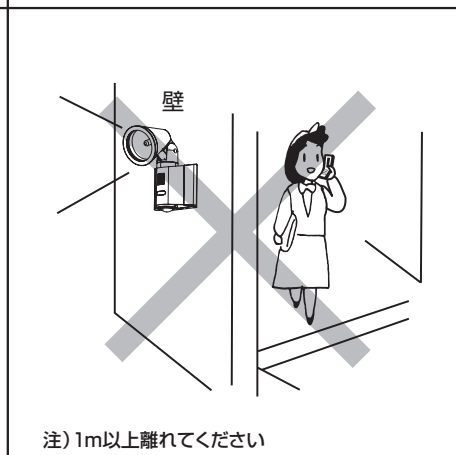
誤動作する

下記のような場合は設置場所を変更、または付属のエリアマスキングカバーで誤動作を起こさないように検知エリアを制限してください。(10ページ参照)

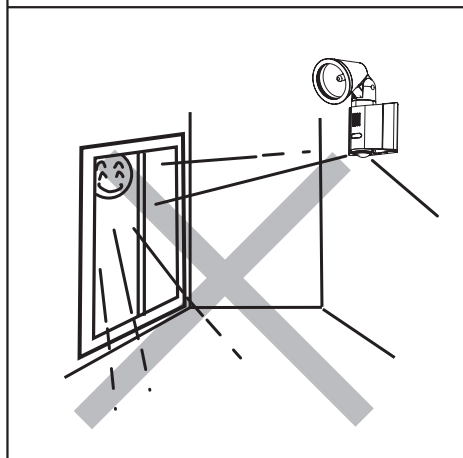
- 不安定なポールや壁面に設置
(検知エリアが定まらない)



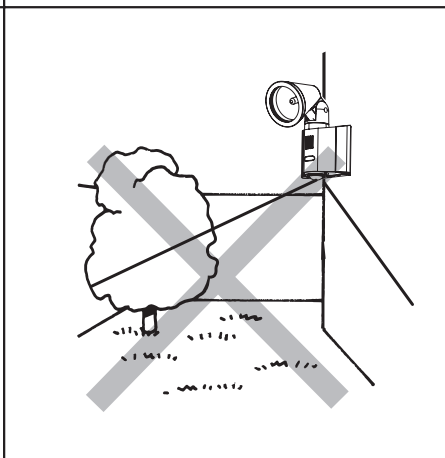
- センサライトの周辺(壁ごしを含む)で携帯電話などの移動通信機器を使用



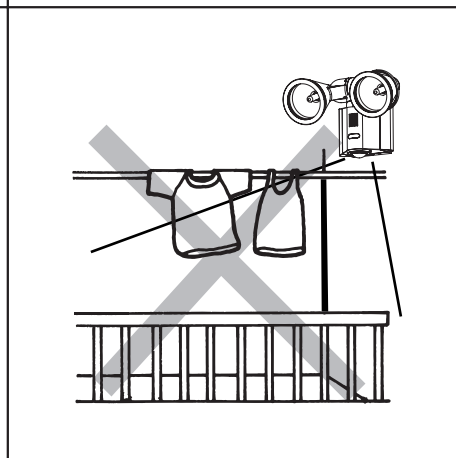
- 検知エリアが窓に向いている



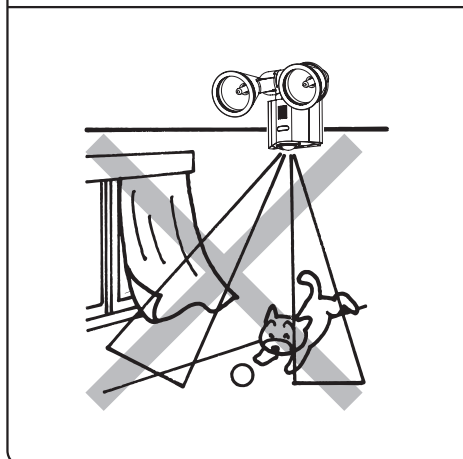
- 検知エリアが木に向いている



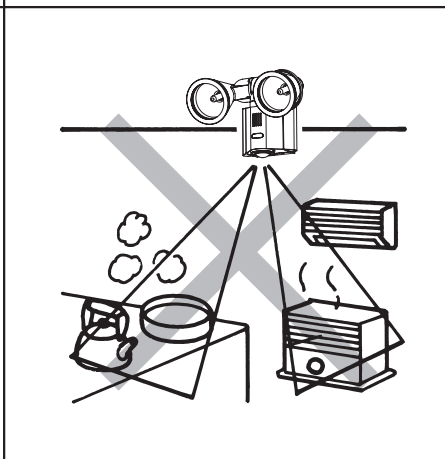
- 検知エリア内に洗濯物がある



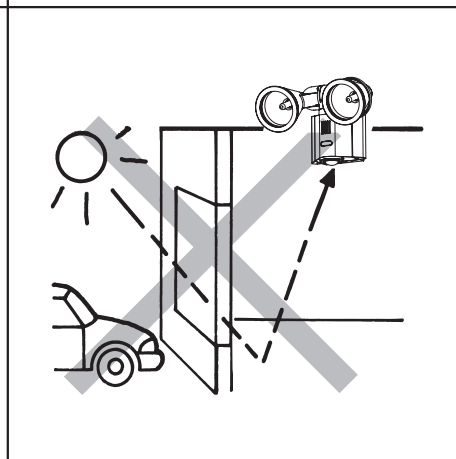
- 検知エリア内に動くものがある
〔カーテン、猫、犬など〕



- 検知エリア内で急激な温度変化がある
〔冷暖房器具、水、湯気、油、すきま風など〕



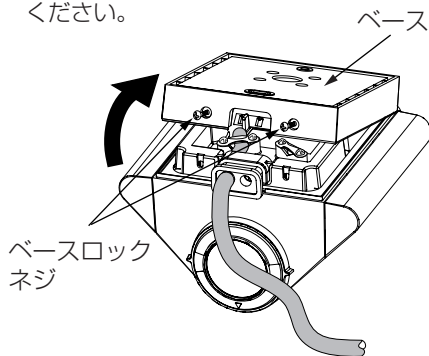
- 直射光、反射光が当たる
〔太陽の反射光、夜間の自動車のヘッドライトなど〕



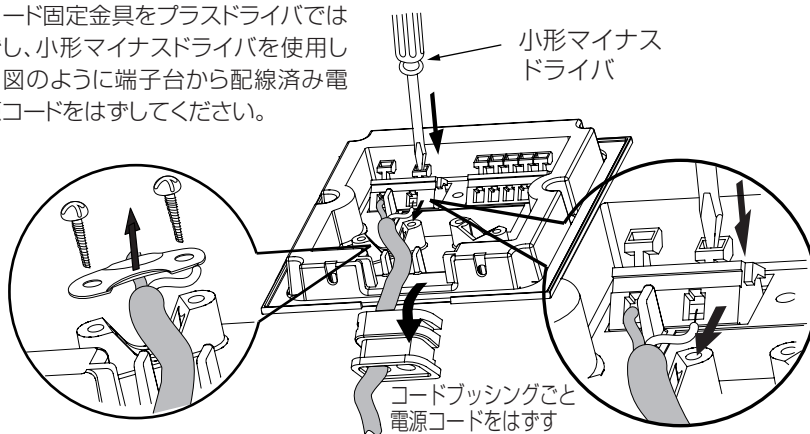
電源コードを埋込配線する場合や、本体の外部入出力端子に市販の機器等を接続する場合は次の配線方法で行なってください。
 なお、ご購入時の接続済みプラグ付電源コードをそのまま屋外で使用する場合は、必ず電源プラグを屋外用コンセントに差し込んでください。

●電源コードを壁に埋込配線する場合

①下図のように本体下部のベースロックネジをはずしてベースを取りはずしてください。



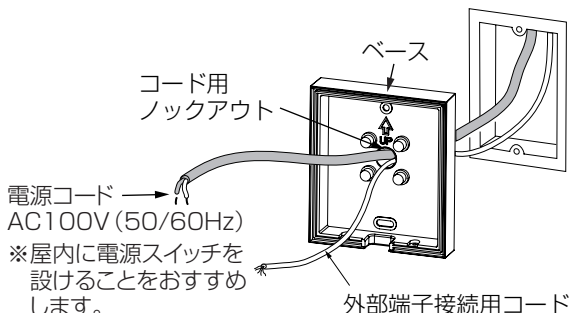
②コード固定金具をプラスドライバーではずし、小形マイナスドライバーを使用して図のように端子台から配線済み電源コードをはずしてください。



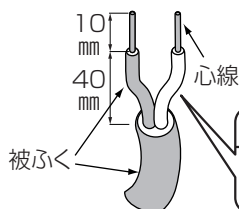
⚠ 注意

電源工事は電気工事士の資格が必要です。ご購入店や電気工事店に依頼してください。

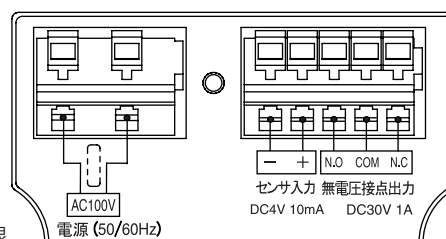
③ベースのコード用ノックアウトに工具を使用して穴をあけて、この製品に接続する電源コードを穴に通してください。また、外部端子接続用コードの場合も同様に通してください。



④端子配列は右図の通りです。また、コードの先端処理を下図のように行なってください。



＜裏面 端子配列＞



⚠ 注意

電源コードがより線の場合は、絶縁被ふく付圧着端子（棒型）（市販品）を使用してください。

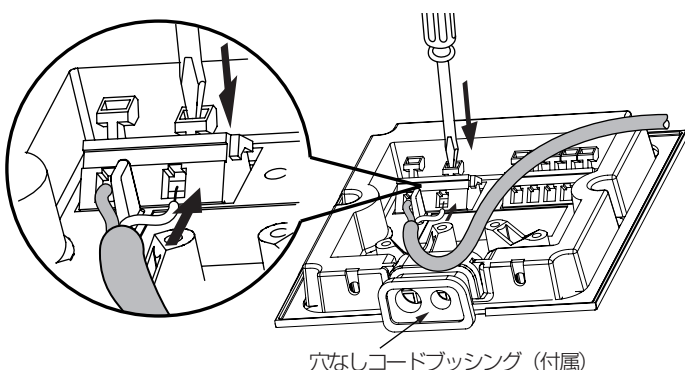
⚠ 注意

接続するコードは軟銅線を使用し、必ず下記接続可能なコードサイズのものを使用してください。もし規定以外のサイズのコードを使用しますと、端子台に接続できない場合や、固定金具でコードを固定できない場合があり、火災や事故の原因となりますので注意してください。

●電源コード：被ふく外径 $\phi 5 \sim 7 \text{mm}$
心線径 $\phi 1 \sim 2 \text{mm}$

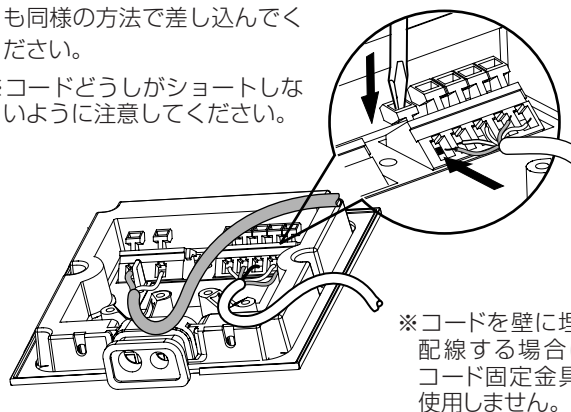
●外部端子接続用コード：被ふく外形 $\phi 5 \sim 7 \text{mm}$
心線径 $\phi 1 \sim 2 \text{mm}$

⑤図のように付属の穴なしコードブッシングに取り換えて、電源コードを図の方法で端子台に奥までしっかり差し込んでください。



⑥外部端子接続用コードの場合も同様の方法で差し込んでください。

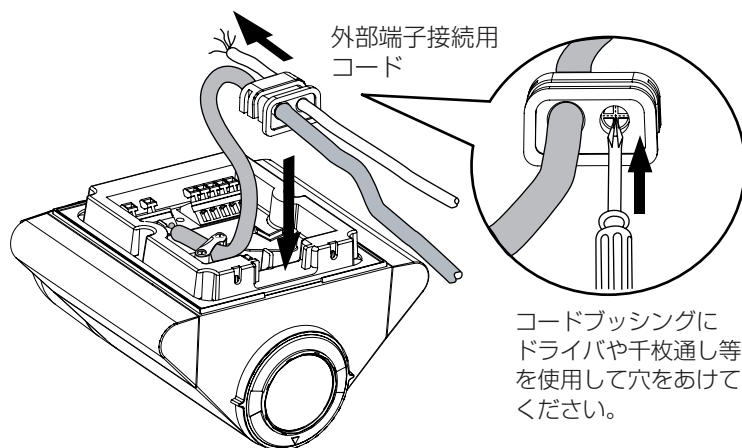
※コードどうしがショートしないように注意してください。



●外部端子接続用コードを本体下部から取り出す場合

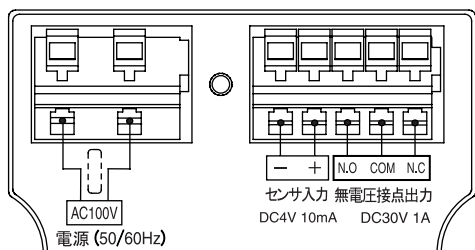
①埋込配線の場合と同様にベースを取りはずします。

②コードを接続する前に外部端子接続用ケーブル（市販の多心ケーブルをおすすめします）をコードブッシングの電源コードの隣の穴に通しておきます。

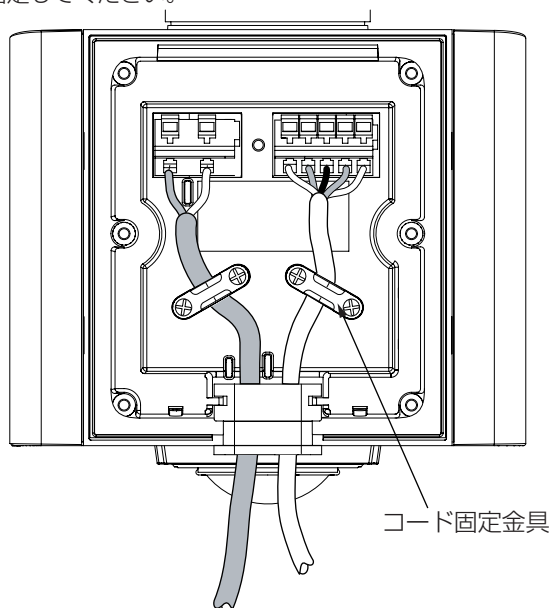


③端子配列は下図の通りです。また、コードの先端処理は前ページの電源コードと同様に行なってください。

<裏面 端子配列>



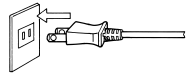
④外部端子接続用コードをコード固定金具のネジを最後まで締めてしっかり固定してください。



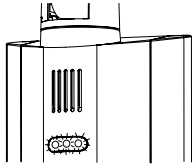
1. ウォーミングアップ

電源プラグをコンセントに接続すると(またはリセットボタンを押すと)、初期動作を行ないます。なお、電源コードを壁に埋込配線して使用する場合は、電源プラグを抜き差しする代わりに中間スイッチやブレーカを操作してください。

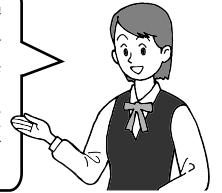
- ①電源プラグをAC100V
コンセントに差し込む。



- ②3色のLEDが同時に点滅をはじめます。
なお、この間はライトは点灯しません。
※約60秒後、自動点灯モードになります。(点滅は真中の赤色LEDのみとなります)



※ウォーミングアップは、この製品の人体検知センサが安定するまでの初期動作を行っており、ライトは点灯せず、チャイムやアラームも鳴りませんが故障ではありません。電源プラグをコンセントに差し込むたびに(またはリセットボタンを押すたびに)、タイマボリュームの位置にかかわらず必ず約60秒間行います。



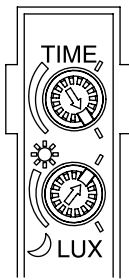
(注) 左記のように動作しない場合は、電源プラグをコンセントに差した状態でリセットボタンを押す(19ページの10参照)または、電源プラグをコンセントに差し直してください。

2. 動作テスト

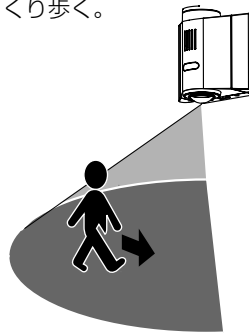
ウォーミングアップ終了後に(真中の赤色LEDのみが点滅)になってから)人体検知センサが正しく検知し、電球が点灯することを確認してください。

- ①タイマボリュームと明るさセンサ調整ボリュームを図のように設定する。
(ご購入時の設定位置)

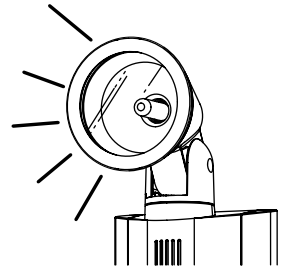
TIME:タイマボリュームを最短(左回りいっぱい)に回す。
LUX:明るさセンサ調整ボリュームを☆(昼、夜ともに点灯)に回す。



- ②検知エリア内をゆっくり歩く。



- ③ライトが約5秒間点灯する。

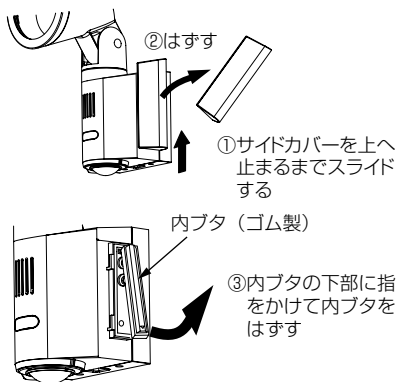


※点灯しない場合や、消灯しない場合は23ページの「故障かなと思ったら」を参照してください。

3. 調整方法

本体の右側のサイドカバーをはずして、下記調整ボリュームでお好みの設定にしてください。

サイドカバーのはずし方(右側の場合)

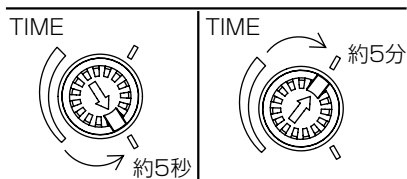


左側のサイドカバーも右側と同様にはずしてください。(※)

(1) TIME:タイマボリューム

右側面のタイマボリュームでライトの動作(点灯及び点滅)時間およびリレー出力時間を【約5秒～約5分】に調整できます

※ライト動作時間とリレー出力時間を個別に調整できません。
※ボリューム回転角度と時間は比例しません。実際に検知動作させて調整してください。
※検知エリア内で人が動き続けると点灯(点滅)およびリレー出力時間が延長されます。(リトリガブル機能といいます。)

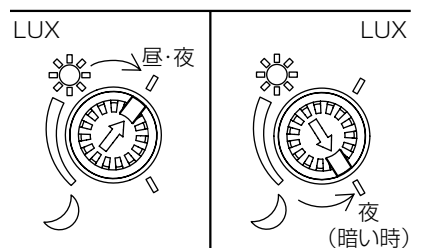


(2) LUX:明るさセンサ調整ボリューム

右側面の明るさセンサ調整ボリュームで

☀ 昼、夜ともに点灯(点滅)
🌙 夜(暗い時)だけ点灯(点滅)

に調整できます。
※実際に使用する明るさで検知動作するか確かめて調整してください。



(注) ボリュームは無理に回したり、ペンチ等の工具で回したりしないでください。

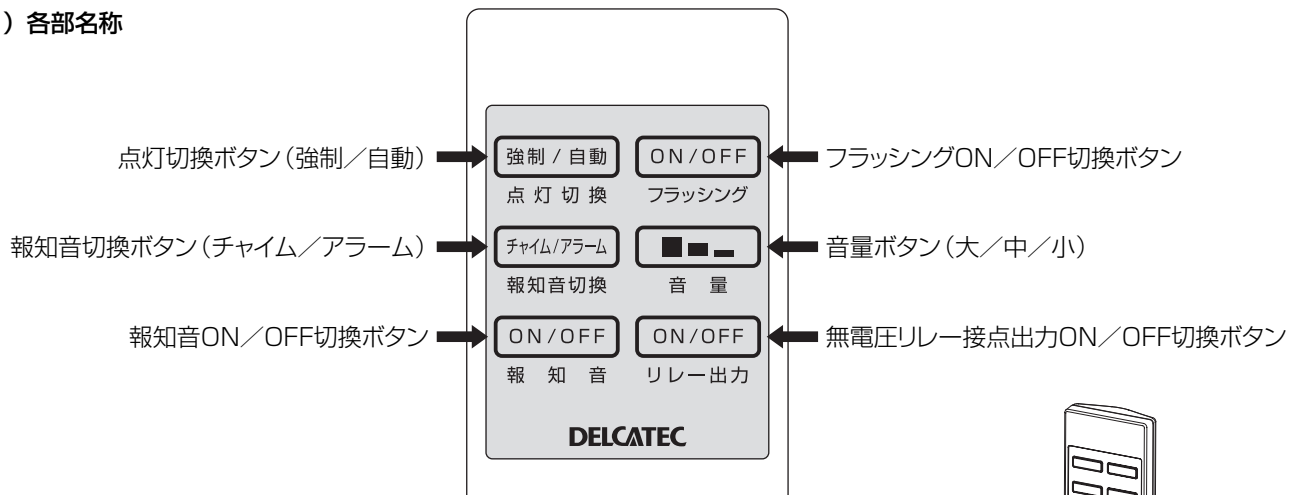
(注) ボリューム調整時に取りはずした内ブタやサイドカバーは調整終了後、上記と逆の手順でしっかり取り付けてください。(取り付けが中途半端のまま使用しますと雨水等が浸入して故障や事故の原因になります)

(※) 左側のサイドカバー内のボリューム等の操作方法は、17ページ以降の各々の使用方法を参照してください。

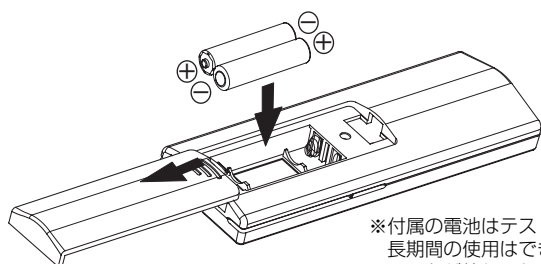
4. リモコン (SLR100D) の使い方

- この製品のリモコンは、特定小電力無線式リモコンです。これは、赤外線式リモコンとは異なり、電波の指向性がありません。(センサライトにリモコンを直接向けなくてもコントロールが可能です。)
- このリモコンは防水構造ではありません。雨水等がかからないよう注意してください。
- リモコンの操作を行なう場合、ボタンは0.5秒以上押してください。また、ボタンを離してから次にボタンを押すまで0.5秒以上間隔をあけてください。(ボタンを押す時間や間隔が短い場合、本体がリモコンの操作を受け付けないことがあります。)
- ご使用の前に、22ページの「ご注意」をよくお読みになってからお使いください。

(1) 各部名称

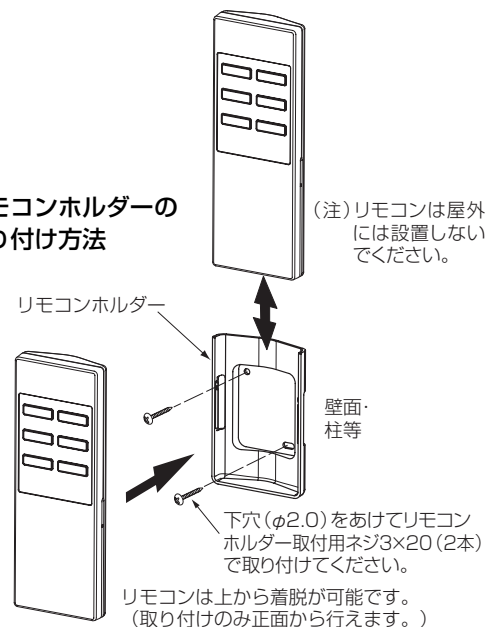


(2) 電池の正しい入れ方



- 矢印の向きにフタをスライドしてください。
- 新品の単4アルカリ乾電池の⊕⊖を間違えないように入れてください。

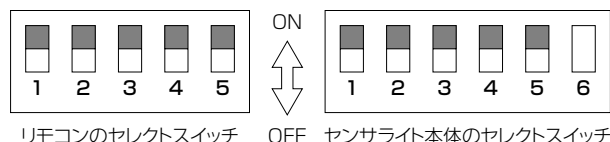
(3) リモコンホルダーの取り付け方法



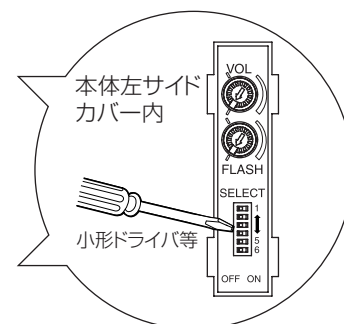
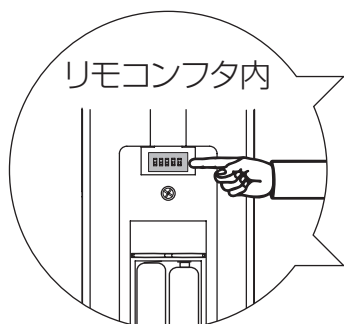
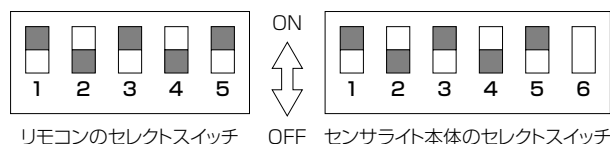
(4) リモコンセレクトスイッチ

リモコンのセレクトスイッチと、センサライト本体のセレクトスイッチ(スイッチNo.1~5)は必ず同じ設定にしてください。違っていると動作しません。

例：その1



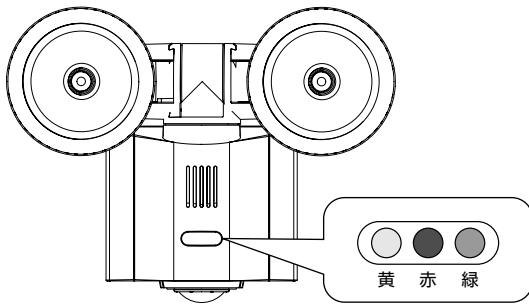
その2



- ※セレクトスイッチの組み合わせは、上図の組み合わせを含めて32通りあります。
- ※となり近所で同じSL111AおよびSL112Aが設置されますと混信して誤動作することがあります。このような場合はセレクトスイッチの組み合わせを変えれば解決できます。
- ※センサライト本体側のセレクトスイッチ6番は外部センサ入力機能のN.O、N.C選択スイッチですので、20ページの「システムアップ」を参照のうえ、必要に応じて切り換えてください。

5. 状態表示LEDについて

本体前面の高輝度LEDにより運転状態が一目でわかります。また自動点灯モード時は赤色LEDの点滅で威嚇効果を発揮します。



LEDの色

状態

黄色（左）：報知音機能ON—点灯
報知音機能OFF—消灯

赤色（中央）：威嚇機能—常時点滅（自動点灯モード時のみ）

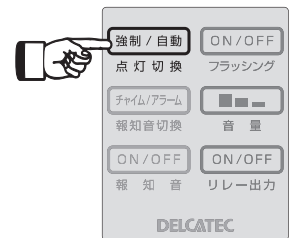
緑色（右）：チャイム音選択—点灯
アラーム音選択—消灯

6. モード

下記2つのモードがあり、右図のリモコンボタンを押すたびに切り換わります。

（1）自動点灯モード

明るさセンサ調整ボリュームで、あらかじめ設定した明るさより周囲が暗くなって人体を検知すると、ライトは自動点灯します。また、「タイマボリューム」により点灯時間を約5秒～約5分に調整できます。なお、リモコン「強制／自動」ボタンが押された時点から報知音機能（18ページの8参照）は10秒間停止します。（この機能をリモコンタイマといいます。）この間は検知エリア内に人が侵入してもライトが点灯するのみで、報知音は鳴りませんので外出時に便利です。



〈リモコンボタン部〉

（2）強制点灯モード（リモコンの操作のみで機能します）

リモコンの「強制／自動」ボタンを押すと強制的にライトが点灯し、再度「強制／自動」ボタンを押すと消灯して自動点灯モードに切り換わります。（なお、強制点灯時間は約60分間で、60分を過ぎると自動点灯モードに戻ります。）



ワンポイントアドバイス

夜間、屋外で不審な物音がした時など、リモコンで強制点灯させると威嚇効果が期待できます。



注）ウォーミングアップ中は、リモコンの操作を受け付けません。（リモコンのボタンを押した場合、本体より「ピッピッ」と拒否音が鳴ります。）リモコンの操作はウォーミングアップ終了後に行なってください。

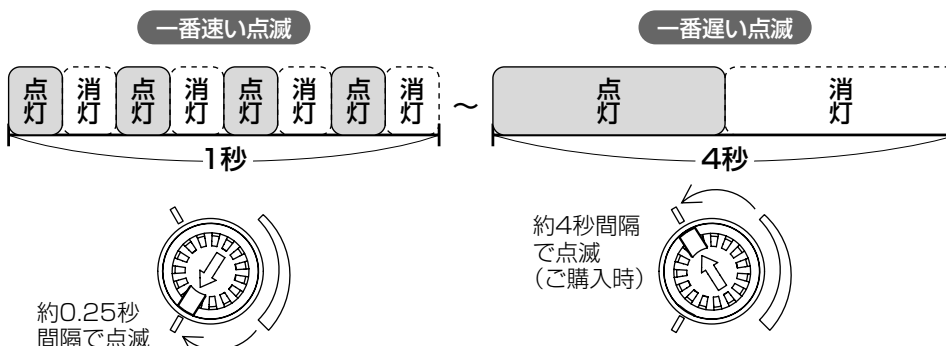
注）強制点灯モード中はライトは点灯しますが人体検知機能、報知音機能、外部センサ入力機能、無電圧リレー接点出力機能、状態表示LEDは停止します。

7. フラッシングの調整

通常点灯とフラッシング点灯の2種類があり、右図のリモコンボタンにより選択できます。フラッシングのスピードは本体左側面のフラッシング速度調整ボリュームにより可変できます。

【フラッシングスピード】

下図のとおり、点灯／消灯が約0.25～4秒間隔に調整できます。（点灯／消灯の時間の割合は1:1です。）



＜FLASH フラッシング速度調整ボリューム＞



〈リモコンボタン部〉

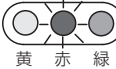
8.報知音機能

報知音機能はセンサライト本体の人体検知センサにより人体を検知すると設定した明るさセンサ調整ボリュームに関係なく作動します。(外部センサ入力端子とは連動していません)
報知音機能のON／OFFや、チャイム／アラーム、音量の切換えはリモコンで操作します。

(1) 報知音の選択

●チャイム音とアラーム音は、右図のリモコンの「報知音切換ボタン」により選択できます。(注1)

●チャイム音…「ピンポン」が1度に3回鳴動します。

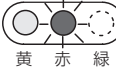


報知音機能ONの時
黄点灯、赤点滅、緑点灯

〈状態表示LED〉

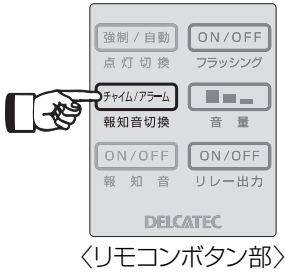
●アラーム音…約30秒間

リトリガブル機能はありませんので、鳴動中に人体を検知しても延長されません。



報知音機能ONの時
黄点灯、赤点滅、緑消灯

〈状態表示LED〉



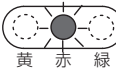
(注1) このボタンを押して設定後約10秒間はセンサライトは人体を検知してもライトは点灯しますが、報知音は鳴りません。(リモコンタイマといいます)この機能により、リモコン設定後約10秒間は報知音が鳴動しませんので、外出時に便利です。

- 報知音機能が「ON」になっている時のみチャイム／アラームの切換えが選択ができ、「OFF」になっている時はこのボタンを押しても、エラー音が「ピッピッ」と鳴り、選択できません。
アラーム音をこのボタンを押してチャイム音に切り換える時、チャイム音が1回鳴動します。
チャイム音をこのボタンを押してアラーム音に切り換える時、アラーム音が約3秒間鳴動します。
※報知音の鳴動中はチャイム／アラームの切り換えはできません。

(2) 報知音の停止方法と報知音機能の解除方法

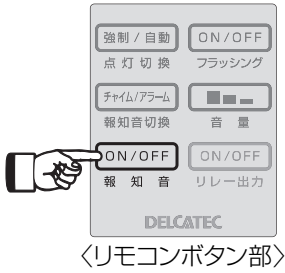
●報知音機能が「ON」になっている時、右図のようにリモコンの「報知音ON／OFF切換ボタン」を押すと、確認音が「ビッ」と鳴り報知音機能が「OFF」になります。(注1)

・報知音の鳴動中に「報知音ON／OFF切換ボタン」を1度押すと、報知音の鳴動は即停止します。このとき、報知音機能は「ON」状態のままになります。もう1度押すと報知音機能は停止します。



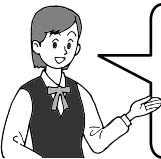
報知音機能OFFの時
黄が消灯する

〈状態表示LED〉



(3) 報知音の音量調整

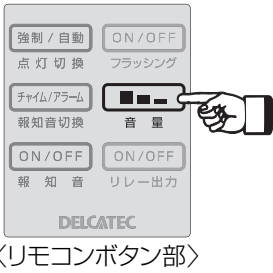
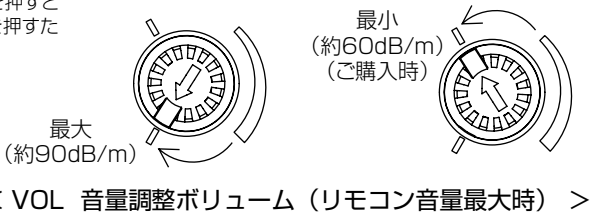
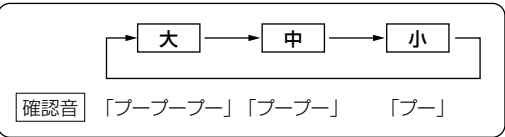
- ・報知音の音量は本体左側面の音量調整ボリュームおよびリモコン(右図)によって調整ができ、チャイム音とアラーム音の両方に機能します。(注1)
- ・音量調整ボリュームによる調整範囲は、リモコン音量最大時 約60～90dB/m
リモコン音量最小時 約48～78dB/mです。



かんたん音量調節方法

まずはリモコンで大・中・小に切換えてみてください。
つぎに、もっと大きな音量がお好み場合は、本体の音量調整ボリュームで調整してください。

- ※リモコンによる音量調整は報知音機能が「ON」時のみ可能です。「OFF」の場合は拒否音「ピッピッ」が鳴動し調整できません。
- ・報知音が鳴動中に「音量ボタン」を押すと音量が直接変化します。
- ・リモコンで調整する場合報知音が鳴動していないときに「音量ボタン」を押すと現在の音量を確認する確認音が鳴り、続けて2秒以内に「音量ボタン」を押すたびに下記のように音量をあらわす確認音が鳴ります。



(注1) このボタンを押して設定後約10秒間はセンサライトは人体を検知してもライトは点灯しますが、報知音は鳴りません。(リモコンタイマといいます)
この機能により、リモコン設定後約10秒間は報知音が鳴動しませんので、外出時に便利です。

9. 設定について

(1) 初期設定

ご購入時（出荷時）の設定は以下の通りです。

機 能			設定／調整
ライト	ライト点灯モード		自動点灯モード
	ライトの点灯種類		通常点灯
	タイマボリューム		約5秒（最小）
	明るさセンサ調整ボリューム		∞ lux（昼夜ともに点灯）
	フラッシング速度調整ボリューム		約4秒間隔で点滅
報知音	報知音の鳴動		OFF
	報知音の種類		チャイム音
	報知音音量(※)	音量調整ボリューム	約60dB／m（最小）
		リモコン設定	大
セレクトスイッチ			スイッチNo.1～6全てOFF
無電圧リレー接点出力			OFF

※報知音の音量は、本体の音量調整ボリュームとリモコンによる併用で設定できます。

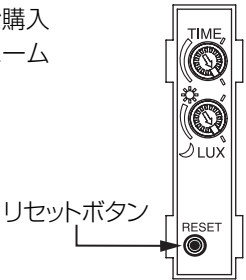
(2) メモリー機能

お客様がリモコンで設定した状態は本体の電源がOFFになっても内容は保持されます。

10.リセットボタンについて

本体右側面にあるリセットボタンを（約1秒）押すと、マイコンとメモリーがリセットされて本体がご購入時の設定に戻り(※)、ウォーミングアップ(15ページの1参照)をはじめます。（本体の調整ボリューム位置は戻りません）。

※お客様がリモコンで設定していた状態が消去されますので、再度設定し直してください。



1. 外部センサ入力機能

本体裏面の外部センサ入力端子に市販の各種センサ等(下記【入力条件】をそなえた機器)を接続すると次のようなシステムアップが行えます。

●ライトの点灯

自動点灯モードの場合、接続したセンサが作動するとお客様があらかじめ設定した各調整ボリュームの条件でライトが点灯します。
(明るさセンサ調整ボリュームの設定より暗い時、ライトが点灯します。) **ただし、報知音機能は作動しません。**

●無電圧リレー接点出力の連動

接続したセンサが作動した場合、無電圧リレー接点出力機能により他の機器を制御することができます。(詳細は21ページを参照してください。)

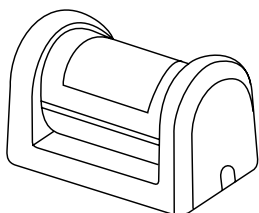
【入力条件】

- ①入力方式 —— N.O(ノーマルオープン)、N.C(ノーマルクローズ)の2種類／状態の変化を検出する(セレクトスイッチNo.6の設定による)
(H⇒L または L⇒H) (※1)
- ②オープン電圧 —— DC4V
- ③ショート電流 —— DC10mA以下
- ④変化時間(パルス幅) —— 0.1秒以上(状態保持時間が0.1秒未満の場合、検出しません)

応用例：その1

有線式人体検知センサ PS-15B (別売)

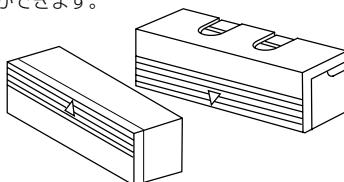
センサライトの人体検知エリアとは別の場所の侵入者を赤外線センサで検知して、ライトを点灯させることができます。



応用例：その2

防犯スイッチ (別売)
MS-102 ON (別売)
MS-102 OFF (別売) (※1)
MCS-201N (別売)

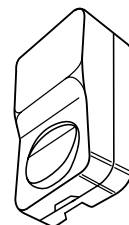
ドアや窓が開くと、ライトを点灯させることができます。



応用例：その3

チャイム用押しボタン
P-2/P-3 (別売)

押すだけで、ライトを点灯させることができます。



※1 市販のセンサを接続する場合(例：別売 MS-102 OFFの場合は設定が必要です(ONにします))

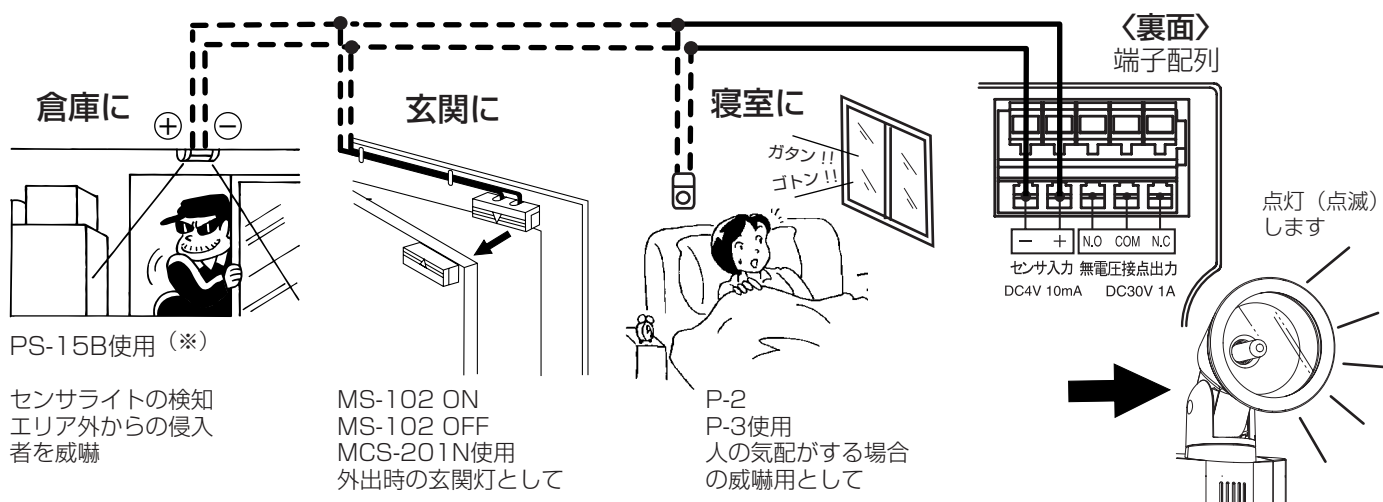
市販のセンサを接続する場合、センサ側の出力形式がノーマルオープンかノーマルクローズかに応じて、本体の左側面にあるセレクトスイッチの6番目をOFF(ノーマルオープン)か、ON(ノーマルクローズ)に切り換えてください。
なお、ご購入時の設定はOFF(ノーマルオープン)になっています。

※詳細は、各機器の取扱説明書を参照してください。



●使用例

上記センサを(別売)使用すると次のような場面でリモコンを使わずに、センサライトが人を検知しなくても ライトを点灯(点滅)させることができます。



※PS-15Bには極性(+-)があります。(この製品の+端子とPS-15Bの+端子を接続してください。)

2. 無電圧リレー接点出力機能

右図のリモコンボタンを押して無電圧リレー接点出力が「ON」の場合、本体の人体検知センサまたは外部センサ入力が作動した時、下記の条件で無電圧リレー接点が発動しますので、他の機器を制御することが可能です。（使用リレーはメカニカルC接点です。）

【条 件】

- ①接点出力2種類 N.O（ノーマルオープン）接点 N.C（ノーマルクローズ）接点
- ②接点容量 DC30V 1Aまで
- ③出力時間 約5秒～約5分（タイマボリュームと連動しています）

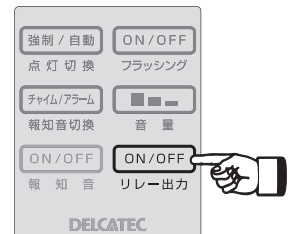
※ただし、リモコンで無電圧リレー接点出力がOFFに選択されている時はこの機能は作動しません。

※ON/OFFどちらかに切り換ったかは本体より鳴る音で確認できます。ボタンを押した時に「ON」の場合「ピッ」、「OFF」の場合「ピッピッピッ」と鳴ります。

※電源投入時は作動しません。

※明るさセンサ調整ボリュームには連動していません。

※リモコンタイマがあります。（操作後約10秒間は作動しません）



〈リモコンボタン部〉

応用例：その1

- ・SHS-800（別売：右上）
接点入力送信部（屋内専用）
- ・SHS-1000（別売：右下）
スーパーワイヤレス受信部

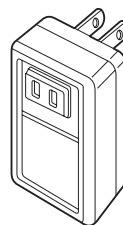
2階や離れた部屋に無線で通報します。配線工事は最小限です。後付も簡単です。



応用例：その2

PA-102（別売）
他のAC100V機器を制御可能です。

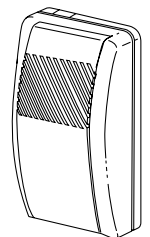
（注）電熱器等の発熱する機器や換気扇には使用しないでください。



応用例：その1

マイメロディ 2音
CA-45／CA-302（別売）

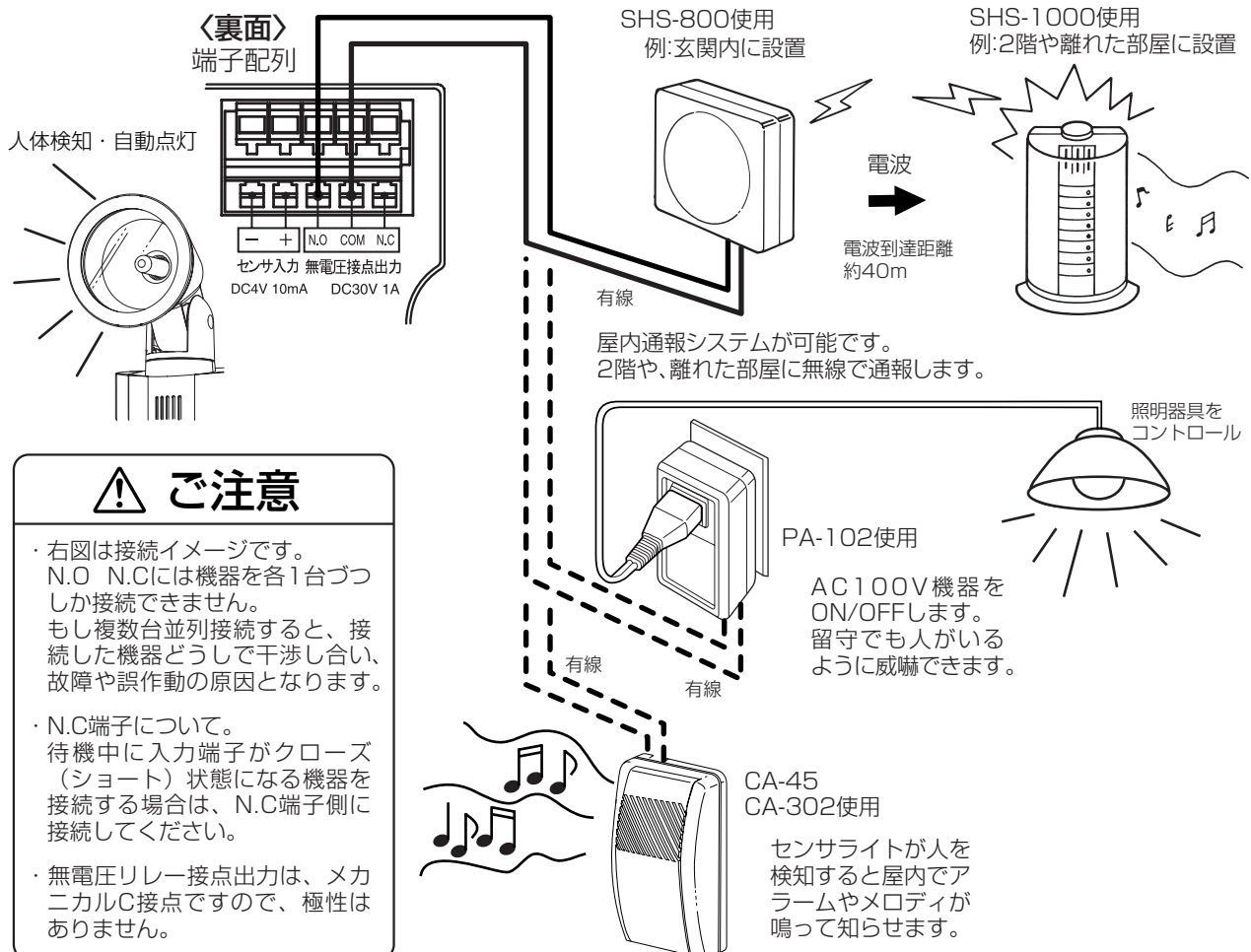
センサライトが人を検知すると屋内でアラームやメロディが鳴って知らせます。



※詳細は、各機器の取扱説明書を参照してください。

●使用例

センサライトが人を検知すると、上記の機器（別売）を制御したり、屋内でアラームを鳴らすことが可能です。



⚠ ご注意

- ・右図は接続イメージです。
N.O N.Cには機器を各1台づ
つしか接続できません。
もし複数台並列接続すると、接
続した機器どうしで干渉し合い、
故障や誤作動の原因となります。
- ・N.C端子について。
待機中に入力端子がクローズ
（ショート）状態になる機器を
接続する場合は、N.C端子側に
接続してください。
- ・無電圧リレー接点出力は、メカ
ニカルC接点ですので、極性は
ありません。

●リモコンの電波の到達距離は、見通し距離約20mです。

- ・見通しとは……………車両の通行量が少なく、周囲の見通しが良好な郊外のような場所で使用した場合の電波の見通し到達距離です。

ただし、この距離は目安です。周囲の環境で変化しますので必ず取り付け前に確認してください。

特に以下のような環境では到達距離が短くなったり、動作しないことがあります。

- ・取り付ける壁面の内側に鉄板類や鉄骨または断熱材としてアルミ箔を貼り付けたグラスウールを使用している。
- ・周囲が金属物で囲まれているような場所。（カラオケボックスなど）
- ・テレビ、ラジオの送信所や無線放送局（ミニFM局、アマチュア無線局など）が近くにある場所。
- ・テレビ、ラジオ、パソコン、ファクシミリ、コードレス電話、電子レンジ、携帯電話、PHS、電波式送信機や受信機（特に、特定小電力無線機器）などの電波（ノイズ）を発生している家電製品やOA機器が近くにある場所。
- ・ハイパワーの無線をしている車が往来する道路に近い場所。
- ・リモコンとセンサライト本体の間に鉄板類、金網など電波を遮へいするようなものがある場所。

また、リモコンから送信された電波が壁や天井等に反射したものとまっすぐに飛んだものが交差して電波の弱まる場所があります。

そのような場所にセンサライト本体を取り付けると見通しでも届かない場所があります。

●リモコンは浴室など温度や湿度が高い場所では使用しないでください。

●病院など医療施設内や心臓のペースメーカーを使用している方のすぐそばではリモコンを使用しないでください。

●このリモコンはセンサライト本体や、状態表示LEDが見えない場所（例：屋内）から操作が可能のため、必ず次の事項を守ってください。

- ・リモコン操作後は本体の状態表示LEDで現在の動作モードを確認してください。
- ・リモコンをズボン等のポケットに他の小物と一緒にに入れて持ち歩いたり、他のリモコン等と重ねて置かないでください。（ボタンが押されてお客様の意図しない動作に切り換わる可能性があります。）
- ・リモコンの保管は付属のリモコンホルダーを使用し、お子様の手の届かない場所に設置、保管してください。

●この製品のセンサは検知エリア内の温度変化を検出する方式ですが、ゆっくりと温度が変化する場合、また、急激に温度が変化する場合、検知動作しないことがあります。

●センサ部のレンズを傷付けたり、変形させたりしないでください。またホコリが付着した場合は柔らかい布で拭き取ってください。検知感度が低下したり、検知エリアが変化したりします。

●この製品のお手入れは柔らかい布で空拭きか、中性洗剤を薄めた水に浸した後、固く絞った布で拭き取ってください。ベンジン、シンナーなどの薬品は、表面の変色、変形の原因となります。

●使用中に異常が発生した場合は、直ちに電源プラグをコンセントから抜き取り（またはブレーカ等を切って）、ご購入店へ相談してください。ご自分での点検、修理、改造は絶対に行なわないでください。

●ライト部およびライトフードは非常に高温になりますので、電源コードがライト部やライトフード、ガラスに触れないように取り付けてください。

●この製品は自動照明、一般照明、来客、通報、威嚇照明として使用する目的以外では使用しないでください。なお、空巢、強盗、変質者の侵入等の犯罪による損失、損害に関しましては当社は一切責任を負いかねます。また、この製品の入出力端子を使用した二次的災害、人身事故、損害等に関しましても当社は一切責任を負いかねますのでご了承ください。

●はじめにさせていただくこと

故障と判断される前に本体のリセットボタンを押してください。（電源プラグをコンセントから抜くだけで改善する場合があります。）それでも症状が改善しない場合は次の項目をチェックしてください。

電源を入れても点灯しない

- ウォーミングアップ時間である ⇒ 電源投入後またはリセットボタンを押すとウォーミングアップを行い約1分間は点灯しません。  P.15
- 電球が切れている ⇒ 新しい電球に交換してください。  P.6
- 電球が正しくセットされていない ⇒ 電球を軍手などの乾いた布で持ち締め直してください。  P.6
- 電源コードが本体に正しく接続されていない ⇒ 電源コードを確実に接続してください。  P.13
- 安全ヒューズが切れている ⇒ 定格を超えた負荷がかかったものと考えられます。（修理が必要です。）  P.6、24

人がいるのに点灯しない

- 人が検知エリアに入っていない ⇒ 検知エリアを再確認してください。  P.8、9
- 人が動いていない ⇒ 検知エリア内に人がいても動かないと点灯しません。再度動くと点灯します。  P.8、22
- 人が正面から近づいている ⇒ センサに対して人が正面から近づくと検知しにくい場合があります。できるだけ検知エリアを横切るように取り付けてください。  P.8
- 地面や壁と人の温度差が少ない ⇒ センサは人体と背面物との温度差を検知するため、温度差がほとんどないと検知しにくい場合があります。（例：雨のかかったレインコートや冬場重ね着をした場合、真夏に背面物と外気温および体温がほぼ等しくなった場合）  P.8
- 検知エリアの前にガラスなどの遮蔽物がある ⇒ センサの前にガラスや壁などの遮蔽物があると、人の動きを検知できません。検知エリアの調整または取付場所を変更してください。  P.12
- 周囲が明るい ⇒ 照度センサにより明るさ調整ボリュームが「☺」の時、周囲が明るいと点灯しません。  P.15

人がいるのに消灯する

- 人が動いていない ⇒ 検知エリア内に人がいても動かないと点灯しません。再度動くと点灯します。  P.8、9
- 点灯時間が短い ⇒ タイマボリュームを右（時計回り）に回してください。  P.15
- 検知エリア内に人が入っていない ⇒ 検知エリアを調整してください。  P.8、9

消灯しない

- あらかじめ設定された点灯時間が長い ⇒ タイマボリュームを左（反時計回り）に回してください。  P.15
- 検知エリア内に人がいる、または木々の揺れ、エアコンの室外機など急激な温度変化のある熱源が存在する
⇒ 検知エリアから離れてください。また、センサの向きを変えたり、付属のエリ  P.9、10、12
アマスキングカバーを使用するか、熱源を移動させてください。
- 強制点灯モードになっている ⇒ 強制点灯モードを解除してください。  P.17

人がいないのに点灯する

- 検知エリア内に動く物がある（庭木、洗濯物、道路の車、犬や猫など）⇒ 動くものがあると検知して点灯することがあります。また、犬や猫などが検知エリア内を通ると点灯することがあります。取付場所を変更するか、動く物を取り除いてください。また、エリ  P.10、12
アマスキングカバーによって制限することもできます。
- 検知エリア内に熱源や、風を出す物がある ⇒ 検知エリア内や本体付近に熱源や風を出す物（ヒーターやクーラーの室外機、換気扇など）があると点灯することがあります。取付場所を変更するか、熱源や風を出す物を取り除いてください。また、エリ  P.10、12
アマスキングカバーによって制限することもできます。
- 検知エリアの延長線上に動く物がある ⇒ 自動車などが検知エリアの延長線上を通過すると、検知することがあります。また、周囲の温度によって検知距離が変わる場合があります。取付場所を変更するか、検知エリアの範囲を変更してください。また、エリ  P.10、12
アマスキングカバーによって制限することもできます。
- 本体の1m以内に電波を出す機器がある ⇒ 電波を発生している機器を1m以上離してください。  P.12
- 外部センサ入力が作動している ⇒ 外部センサ入力に接続している機器を確認してください。  P.20

リモコン操作が効かない

- 電池容量がない ⇒ 電池を2本とも新品と交換してください。  P.16
- 電波が届いていない ⇒ 電波の到達エリア内で操作してください。また、近くに電波を発生する機器があると、通信距離が短くなることがありますので設置場所を変えてみてください。  P.22
- 本体の電源が入っていない ⇒ センサライト本体の電源コードを正しく接続し、コンセントに差し込んでください。  P.15
- セレクトスイッチの設定が間違っている ⇒ センサライト本体とリモコンのセレクトスイッチを合わせてください。  P.16

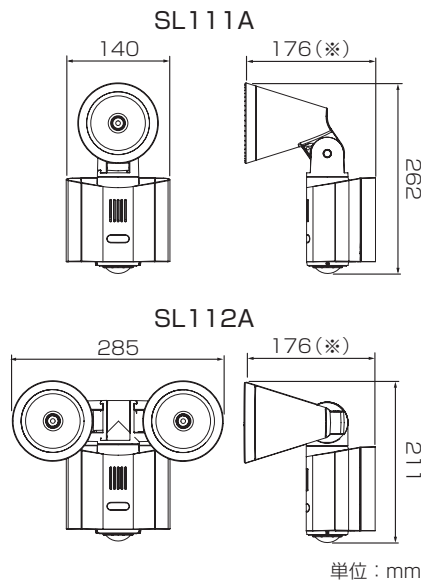
勝手に動作状態が変わる

- となり近所でこの製品を使用している ⇒ センサライト本体およびリモコンのセレクトスイッチの組み合わせを変更してください。  P.16

9

仕 様

〈センサライト本体〉		〈リモコン〉	
電 源 電 圧	AC100V 50/60Hz	電 源	単4アルカリ乾電池×2本
消 費 電 力	約85W(待機時2W以下) SL111A 約160W(待機時2W以下) SL112A	操作ボタン	点灯切換(強制/自動) ボタン フラッシングON/OFF切換ボタン チャイム/アラーム切換ボタン 音量ボタン 報知音ON/OFF切換ボタン 無電圧リレー接点出力ON/OFF切換ボタン
適 用 電 球	ハロゲン電球JD100/110V85W×1 SL111A ハロゲン電球JD100/110V85W×2 SL112A		
センサ検知方式	焦電形赤外線センサ		
センサ検知範囲	水平約360°・距離約10m(最大時目安)		
ラ イ ト 動 作	約5秒～約5分(可変式) 自動点灯モード 約60分 強制点灯モード	無 線 方 式	特定小電力無線(313MHz帯)
リレー出力時間	自動点灯モードの点灯時間と同じ	電波到達距離	見通し約20m
アラーム警鳴時間	約30秒	使用温度範囲	-20～+50℃
チャイム警鳴時間	ピンポン×3回(約5秒)	電 池 寿 命	約1年(ボタン操作4回/1日)
警 鳴 音 音 圧	約48～90dB/m(可変式)	仕様および外観は改良により、変更させていただくことがありますので、あらかじめご了承ください。 ※付属のライトフード取付時はさらに75mm延長されます。 ●リモコンの外形寸法: (H) 140×(W) 50×(D) 18mm	
点 滅 周 期	約0.25～4秒(可変式)		
外部センサ入力	N.O/N.C選択可 ショート電流10mA以下(オープン電圧4V)		
リレー接点出力容量	DC30V 1A		
使用温度範囲	-20～+50℃		
外 形 寸 法	右図参照		
質 量	約1.0kg(SL111A)、約1.5kg(SL112A)(電源コード含まず)		
設 置 場 所	屋内、屋外(JIS保護等級 IPX5)		



保証とアフターサービスについて

- この製品の保証期間は、お買い上げ日より1年間です。保証期間中の故障は下記の無料修理規定により、当社にて責任をもって修理いたします。ただし、ご使用上の誤りや不当な修理、改造による故障および損傷などの場合は保証期間内でも有料修理となります。
- 保証期間経過後の修理についても、お買い求めの販売店にご相談ください。修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理させていただきます。
- なお、保証期間中の修理などアフターサービスについてご不明の場合は、お買い求めの販売店、または当社のもよりの各支店・営業所にお問い合わせください。
- 無料修理規定
 1. 保証期間中、取扱説明書、本体貼付ラベル等の注意書に従った正常な使用状態で故障した場合には、お買い上げの販売店を通じて無料修理いたします。
 2. 次のような場合には保証期間内でも有料修理となります。
 - ①ご使用上の誤り、および不当な修理や改造による故障および損傷。
 - ②お買い上げ後の移動、輸送、落下などによる故障および損傷。
 - ③火災、地震、水害、落雷、その他の天変地異、公害、塩害、指定以外の使用電源(電圧、周波数)や異常電圧による故障および損傷。
 - ④故障の原因が本製品以外の部分(例えばテレビ受像機等)、またはその他の機器によって生じた修理、および改良。
 - ⑤一般家庭用以外(例えば車両、船舶への搭載)に使用された場合の故障および損傷。
 - ⑥本保証書が添付されていない場合。
 - ⑦本保証書にお買い上げ年月日、お客様名、お買い上げ販売店の記入のない場合、あるいは字句を書き換えられた場合。
- 3. 本保証書は日本国内にのみ有効です。(This Warranty is valid only in Japan.)
- 4. 期間中の転居、その他の理由により本保証書に記入してある販売店に修理が依頼できない場合には、最寄りのDX製品取扱店、またはDXアンテナ各支店、営業所へご相談ください。
- 5. お客様にご記入いただいた保証書の控えは、保証期間内のサービス活動およびその後の安全点検活動のために記載内容を利用させて頂く場合がございますので、ご了承ください。
- 6. この保証書によって保証書を発行しているもの(保障責任者)、およびそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。

保 証 書

品 番 SL111A SL112A		※ お 買 上 年 月 日 年 月 日	保証期間 お買い上げ日より 1年間
※ 販 売 店	ご住所・ご店名 電話 () -	様 □□□□□□ 電話 () -	

※印欄に記入のない場合は有効とはなりませんので、必ず記入の有無をご確認ください。もし記入が無い場合には、直ちにお買い上げの販売店にお申し出ください。

※この製品を処分するときは、産業廃棄物として処理してください。

- 詳しいお問合せは、もよりのDX製品取扱店または下記のDXアンテナ各営業所をご利用ください。
- ・札幌支店 TEL.(011)822-1251(代)

・旭川出張所 TEL.(0166)37-5830(代)

・東北支店 TEL.(022)243-2141(代)

・盛岡出張所 TEL.(019)636-1581(代)

・郡山出張所 TEL.(024)921-7131(代)

・東京支店 TEL.(03)3526-5402(代)

・多摩営業所 TEL.(042)572-4911(代)

・横浜支店 TEL.(045)651-2557(代)

・厚木出張所 TEL.(046)225-6102(代)

・埼玉支店 TEL.(048)652-3311(代)

・宇都宮営業所 TEL.(028)659-1100(代)

・新潟営業所 TEL.(025)276-2166(代)

・茨城営業所 TEL.(029)826-5341(代)

・千葉支店 TEL.(043)253-1121(代)

・木更津出張所 TEL.(0438)23-6281(代)

・柏出張所 TEL.(04)7192-1681(代)

・静岡営業所 TEL.(054)281-0141(代)

・浜松営業所 TEL.(053)461-6885(代)

・中部支店 TEL.(052)919-6531(代)

・松本営業所 TEL.(0263)27-7801(代)

・豊橋出張所 TEL.(0532)69-2370(代)

・三重出張所 TEL.(059)226-1643(代)

・金沢支店 TEL.(076)261-9988(代)

・富山営業所 TEL.(076)422-7878(代)

・大阪支店 TEL.(06)6304-5651(代)

・堺営業所 TEL.(072)278-5311(代)

・京都営業所 TEL.(075)382-6141(代)

・神戸支店 TEL.(078)579-8550(代)

・姫路出張所 TEL.(079)283-5920(代)

・広島支店 TEL.(082)237-5331(代)

・岡山営業所 TEL.(086)245-2948(代)

・高松営業所 TEL.(087)868-1222(代)

・松山営業所 TEL.(089)925-3826(代)

・山陰出張所 TEL.(0853)24-2343(代)

・福岡支店 TEL.(092)541-0168(代)

・北九州営業所 TEL.(093)922-6556(代)

・長崎出張所 TEL.(095)842-0780(代)

・大分営業所 TEL.(097)504-7799(代)

・熊本営業所 TEL.(096)325-0711(代)

・南九州営業所 TEL.(099)267-8211(代)

・沖縄営業所 TEL.(098)874-6202(代)

(2008年3月現在)
- DXアンテナ株式会社

本社/〒652-0807 神戸市兵庫区浜崎通2番15号 TEL.(078)682-0001(代) 東京支社/〒101-0021 東京都千代田区外神田4丁目11番5号 船井ビル TEL.(03)3526-6327(代)
カスタマーセンター TEL.(078)682-0455 受付時間 9:30~12:00/13:00~17:00(土曜・日曜・祝日および夏季休暇・年末年始は除く)
ホームページアドレス <http://www.dxantenna.co.jp/>

4300-5

SL111A・SL112A 24/24